

会長のページ 2012年度研修医マッチング結果について	稲倉 正孝	3
日州医談 遺伝子治療はどこまで来たか 眼科疾患を例として	直井 信久	4
随 筆 雲仙への旅と島原半島のこと	友成 久雄	6
柱時計	渡邊 克司	9
ペットボトル	谷口 二郎	10
エコー・リレー(435)	篠原 立大, 中村 都英	12
メディアの目	前田 昭人	13
国公立病院だより(小林市立病院)	坪内 斉志	18
宮崎大学医学部だより(機能制御学講座薬理学分野)	村上 学	20
部会だより(勤務医部会)	豊田 清一	21
ニューメンバー	松田 虎洋, 原田勇一郎, 戸井田玲子	40
私の本 薔薇の時代 - 昭和初期・若き芸術家たち	大西 雄二	42
診療メモ 「茶のしずく」石蝕による小麦アレルギーについて	田尻 明彦	62
宮崎県感染症発生動向		14
各都市医師会だより		16
あなたできますか?(平成 22年度医師国家試験問題より)		22
各種委員会(介護保険委員会・第 7 回公益法人化検討委員会)		23
平成 24年度九州医師会医学会第 1 回準備委員会		26
九州医師会連合会第 32回常任委員会		28
ベストセラー		29
全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会		30
薬事情報センターだより(294) 新薬紹介(その 51)		33
日医 FAX ニュースから		34
理事会日誌		36
県医の動き		39
会員の異動・変更報告		41
ドクターバンク情報		43
行事予定		47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		49
宮大医学部学生のページ(第 7 回清花祭)		64
あ と が き		68
~~~~~		
お知らせ 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ		5
受診時定額負担に反対する署名運動にご協力ください		8
日州医事投稿についてのお知らせ		11
女性医師メーリングリストのご案内		17
カット, イラストの募集		23
「新春随想」原稿募集		59
日本医師会女性医師バンク		60
平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い		61
都市医師会への送付文書		66
告 知 第 15回宮崎県医師会臨時代議員会		58
ご 案 内 第 68回宮崎県医師会臨時総会		58

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 水墨画〕

### 桜島風景

美しき国と日本をほめあげて  
歴史はおどる右往左往に  
歳だけは勝手に増えてゆきており  
吾の誕生だれにも言へず  
しょうがないどげんかせんと言われても  
ただ笑みうかべ桜島眺む

都城市 よし やま まさ とし  
吉 山 政 敏

## 会長のページ

## 2012年度研修医マッチング結果について

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

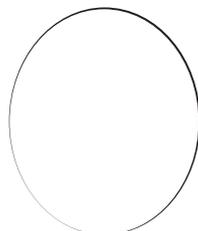
本県では医師の絶対数の不足と偏在により、地域医療を支える地方の中核病院の若手勤務医が激減し(この10年間に県内の20歳代医師数 - 49%, 30歳代医師数 - 19%の減少)、救急医療およびへき地医療が崩壊し、憂慮すべき状態である。県内の開業医、勤務医は高齢化しており、若い医師を増やすことが喫緊の課題である。臨床研修医は研修病院あるいは研修を行った地域に定着する傾向があるので、宮崎県の今後の地域医療にとって研修医の確保は最重要課題である。

10月2日に平成23年度の研修医マッチング結果が発表され、県内の病院で臨床研修を行う内定数は61人であった。マッチ者数が30人と全国最少であった昨年と比べると倍増した。増加数(31人)、増加率(2倍)ともに全国1位であった。定員に対する充足率は昨年の40%(30/75)から75%(61/81)へと増加した。真に喜ばしいことである。しかし、その内訳と今後を考えるといくつかの問題点を抱えている。

61人の研修先をみると、宮崎大学医学部附属病院が50人(定員56人)、県立宮崎病院8人(同10人)、宮崎生協病院3人(同4人)である一方、古賀総合病院(同3人)、県立延岡病院(同2人)、および県立日南病院(同2人)は0であった。大学病院の健闘が顕著であるが、これは卒後臨床研修センターの岡山センター長および小松副センター長の地道な努力に負うところが大きく、地域医療学講座の発足、救急医学講座の充実が好感をもって受け入れられたのではないと思われる。地域枠の設定、奨学金の貸与など行政の後押しも効果的であったと考える。しかしながら、全国的にみると研修医の大学病院(47.1%)から市中病院(52.9%)への流れは変わっていない。本県の場合は82%(50/61)と、余りに大学病院に依存し過ぎていると思われる。

さらに、平成2年度から基幹型臨床研修病院の指定基準の見直しが行われ、入院患者数年間3,000人未満、2年以上研修医の受け入れ実績がない、のいずれかの場合は基幹型臨床研修病院の指定を行わないことになった。の除外基準に宮崎生協病院が、の除外基準に古賀総合病院、県立延岡病院および県立日南病院が該当する。本県の基幹型臨床研修病院数は、佐賀県に次いで全国2番目に少ない。平成2年度までは激変緩和措置により、6施設のまま研修医を受け入れることができるが、今回の指定基準の見直しを厳格に適応すれば、宮崎には宮崎大学医学部附属病院と県立宮崎病院の2つしか残らないことになる。人口比率から考えると本県の研修医数は80人前後が適切であると思われる。この指定基準の見直しは、地方にとっては臨床研修医の確保をさらに困難にすると思われる。県医師会は県行政、日本医師会を通じて厚労省に改善を申し入れている。古賀総合病院、県立延岡病院および県立日南病院に対しては、研修プログラムおよび指導医の充実など、研修医確保のため、一層の努力および大学病院との密接な連携・協力をお願いしたい。(平成23年10月31日)

## 日州医談



## 遺伝子治療はどこまで来たか

## 眼科疾患を例として

理事 直井信久

## 難治性疾患の治療

いままで治療法がなかったさまざまな遺伝性神経変性疾患において新しい治療法が開発されてきており、実用化までもう一步のところまで来ています。このような疾患は、今までは専門医でも診断はできて根本的な治療がなかったわけで、医師として大きなジレンマを抱えてきました。最近入学した医学生をみていると、彼らが専門医になるころには多くの難治性疾患が治療できる時代になっているだろうなという思いにとらわれ、本当にうらやましく感じられます。

## 網膜変性疾患の治療

さて中枢神経系の一つである網膜の変性疾患もその例外ではありません。その手法としては最近注目の再生医療と遺伝子治療があげられます。網膜のES細胞を用いた再生治療は、神戸の理研を中心として開発が続けられており近い将来、すなわちここ3年以内に最初の再生治療が試みられるそうです。目という組織は、ある程度隔絶されたところですので再生治療もやりやすいと考えられています。

## 遺伝子治療とは

遺伝子治療とは、遺伝子に変異があるため機能不全に陥っている細胞の欠陥を修復・修正することで病気を治療する手法です。治療用の遺伝子情報を組み込んだウイルス(ベクター)などを異常な遺伝子を持つ細胞内に侵入させる手法

がとられています。

歴史的には1990年、アメリカにおいてアデノシンデアミナーゼ欠損症による重度免疫不全患者に対する治療に成功し、その後日本でも1995年北大で同様の成果が得られたことは皆さんも覚えておられるでしょう。

現在世界中で多数の遺伝子治療のclinical trialが行われています。63.9%は米国で行われている一方、わが国で行われているのはわずか1.1%にすぎず、大きく水をあけられています。さらに遺伝子治療のclinical trialのうち眼科領域は1.3%にすぎません。この原因としては、遺伝子治療が歴史的に致死的な疾病にしか適応がないとされてきたことが大きいと思われる。眼科領域での遺伝子治療の臨床応用は、網膜芽細胞腫、加齢黄斑変性、レーバー先天盲(早期発症網膜色素変性症)などに対して行われてきています。

## 網膜変性疾患の遺伝子治療

網膜変性症に対する遺伝子治療で最近有名となったのはRPE65遺伝子異常に対する遺伝子治療です。RPE65遺伝子はretinoid cycleのイソメラーゼをコードする遺伝子であり、視物質であるロドプシンが光を吸収して退色した後に、再生する過程に関与している遺伝子です。この遺伝子異常があれば小児期から重篤な視力障害、特に夜盲がみられます。この異常はヒトでみられるとともに、いわゆる純系のスエーデンセッター犬でも同じ異常がみられることが分かって

います。このためまずベクターとしてアデノ随伴ウイルスを用いてこの遺伝子を導入したところ、犬で著明な視機能の改善をみました。その成功を受けてヒトでも同様の遺伝子治療が行われ、視機能、特に暗所での視感度の著明な改善がみられました。その模様は YouTube でも配信され、世界で広く知られることとなっており、ぜひ皆さんもご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=KHvnRJT-8A>

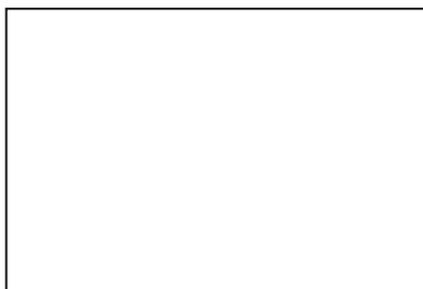
#### 色覚異常の遺伝子治療

もともと哺乳類はヒトのように三色型色覚を持つものは少なく、二色型が大部分です。色覚を司る視物質をコードする遺伝子は X 染色体上にあるので、色覚異常は X 連鎖性遺伝をすることは皆さんもよくご存じのことと思います。新

世界ザルの一種のリスザルのオスはもともと二色型色覚を持ちます。そこに遺伝子治療として赤の遺伝子を入れてやる実験が行われ、その結果が世界を驚かせました。それは赤の視物質を作り出す遺伝子をすでに大人になったリスザルに入れてやったところ、しっかり三色型の視感度になったとの報告です。一度できあがってしまった中枢神経系の可塑性は限られたものとなるはずですが、成人となったリスザルの脳が網膜に新しくできた視物質に呼応して色を弁別できるようになったという事実は、その常識を覆すものでした。その模様は以下のビデオをご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=CnuP-zYIDNc>

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館 1 階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の 2 週間前までに県医師会までご連絡ください。

#### お問い合わせ先

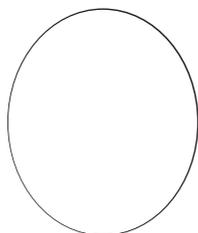
宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 小川

## 随 筆



## 雲仙への旅と島原半島のこと

西都市 西都病院 ^{とも}友 ^{なり}成 ^{ひさ}久 ^お雄

ゴールデンウィークの計画は何もしておらず、直前になって雲仙に行こうと思いついた。島原には一度は行ってみたいといけないう事もあった。温泉のシーズンは過ぎていたから、ホテルも空いているだろうと思った。ところが、旅行社に相談してみると、予約がかなり詰まっていた、手頃なホテルは4月末の1日だけやっと見つかった。用事というのは、2年前の雲仙の大噴火の翌年、妻が描いた普賢岳の絵を島原市に寄贈したところ、市長さんにたいそう喜ばれ、市役所に飾られたということだった。妻はそれを早く見に行きたいと望んでいたのだが、遠くて交通の便も悪い所だから、私は「おっくうだな」と腰が上がらず、延び延びになっていた。

さて、4月末、宮崎を高速バスで出発。初めての熊本港は市街地から思ったより離れていて、タクシーで30分もかかった。連絡よく乗れたフェリーは揺れも音もなく、静止しているかのようである。字も書斎のように楽に書けた。船室は広々として他のどんな乗り物より快適ではないか。島原港までの30分は実に速かった。私はもっと長く乗っていたいと思ったのに。このフェリーは「オーシャンアロー」といって、最近就航したばかりという。時速60キロの超高速で、以前は1時間かかっていたのが半分に短縮されたのだ。

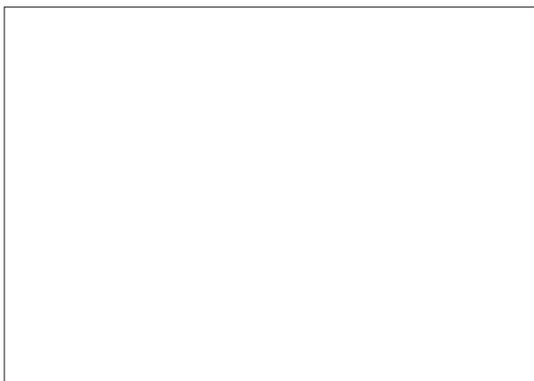
雲仙は島原港からは近いだろうと思って、港に着くとタクシーに飛び乗った。ところが30分余りもかかった。後で聞くとバスもあるのだ

た。水陸の乗り継ぎは運よくスムーズにいったのだが、それでも宮崎から5時間余りかかっていた。雲仙の温泉街は高原リゾートの趣があり、そしてどこか洋風な感じだった。昔、「ハイカラな」所だったという。長崎から外国人がよく来る温泉だった名残だろうか。ホテルは大きな道沿いや小高い丘に散在していた。私たちが泊まったホテルから何か所かに白い湯煙が上がっているのが見えた。少し散歩を試みた。長い乗り物の後は歩くのが心地よい。近くにきれいな公園があったり、家も建て込まず、路も広くてゆとりを感じさせる温泉街だった。ホテルのすぐ近くに浅い谷川が流れていて、土手から斜面にかけて多数植わっていたサクラがちょうど満開だった。ウグイスも鳴いていた。夕刻前なのに肌寒く、季節が1か月ぐらい逆戻りした感じだった。メインストリートを川と反対方向に行くと、道沿いに白煙が噴出している所があり、硫黄の臭いがしていた。手を近づけると熱かった。

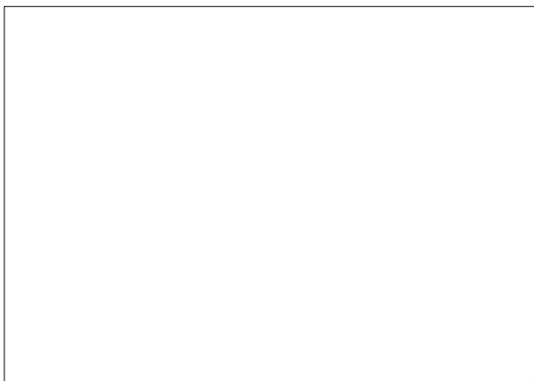
雲仙は標高が700メートル以上あり、夏も涼しくて訪れる人が多いそうである。あるパンフレットに、「九州の軽井沢」と言われているとあった。8月の平均気温が21.7度で、それは札幌と同じだということから、単なる宣伝文句ではない。避暑地というのには魅力を感じた。明治から北原白秋、野口雨情、川端康成など詩人や文豪がよく訪れていたという。

翌朝、乗り合いのマイクロバスで普賢岳に向かう。途中眼下にゴルフ場が見えた。なんと大

正2年にオープンしたという。日本ではもっとも古いパブリックコースだそうである。「なぜこんな所に」と思うが、やはり長崎から多くの外国人が来ていたからだろうか。夏に札幌と同じくらい涼しい所でゴルフというのも快いだろう。



平成新山(展望所から見る)



普賢岳山麓のゴルフ場

普賢岳は展望所までロープウェイで登る。頂上の右手下方の三角形の部分は赤茶けた溶岩ばかりで、植物の緑は全く見えない。20年前の大噴火を物語っている。これが平成新山で、日本でもっとも新しい山になっている。その頂上は1,483メートルで、普賢岳より24センチ高く、溶岩ドームが10個あるという。近年は観光客もめっきり減ったということで、祭日なのに車も人も少なく、駐車場がやたらに広いように感じられた。普賢岳から島原港までは遠くなかったが、

ゆっくり昼食を食べる時間もなかった。熊本からの高速バスを午後2時に予約していたから、少し早すぎたかなと悔やまれた。2日目が普賢岳だけに終わって物足りない気がした。

港の売店には島原・雲仙に関する観光パンフが多数置いてあった。私はほとんど全部もらってきて、フェリーの上で目を通して見た。いささかならず驚いた。15万人が住む島原半島の全域がユネスコの「世界ジオパーク」に認定されていることだった。ジオはジオグラフィ(地理, 地勢)の略だろうと思ったら、ギリシャ語で地球を意味するという。ジオパークは、地球について地形や地層だけでなく、人々の暮らしや歴史を学ぶことができる地域のことだという。言わば野外博物館だ。世界ジオパークは日本には4か所あり、島原が最初に認められたのだという。ジオパークのことを知らなかったが、「寡聞にして」で済むのだろうか。それはともかく、島原市は特異な観光資源を持っているのに、あまりPRをしなかったのではないだろうか。

そのスポットを2, 3紹介してみよう。島原の乱で天草四郎が籠城した島原城跡の高台は、9万年前に起こった阿蘇山の大噴火による火砕流でつくられたのだそうだ。島原にはそれぞれ泉質の異なる温泉群があり、活発な噴気活動をしているという。早崎玄武岩は約430万年前に噴出したと推定されているが、それは泊まったホテルのすぐ近くにあるのだった。しかし、こういうのは実際目に触れないと、感動が起らない。島原のもう一つの特徴は湧水が豊富なことで、1日に22万トンも出て、水の都と言われているという。ジオスポットはその他にもあり、それをめぐるいくつかの観光コースが用意されているのだった。そんなことを知っていれば、もう一泊する計画を立てるのだったのに、と悔やまれた。

ところで、5, 6年前ヤマボウシという落葉

樹を庭の主木として植えた。家を新築して 30年近くも経っていたのだが、この木に出会うまで自分が気に入るものが見つからなかったのだ。その後間もなく新聞の声欄で、島原にヤマボウシが群生した山があり、花の時期は夜空に星が輝くようだという一文を読んだ。一度見に行ってみたいものだと思ったが、いつの間にか忘れてしまっていた。そのヤマボウシが島原市の市花になっていることを今回知った。思えば、私は高校の頃長崎市に住んでいたのだが、同じ県内で遠くない島原のことを名前以外に何も聞いた記憶がない。私は港を離れた後に、島原が間接的ながら縁がなくもない所だったことに気づ

いた。

宮崎を出発して帰着するまで約 30時間。往復の乗り物 10時間余りを引くと、島原に滞在したのは 20時間足らずである。ホテルで 10何時間か過ごしているから、見物はわずか数時間だった。こんな旅行は初めてで、スローな旅行と言うより、効率の悪い旅行だった気もする。しかし、ホテルは初めての「和洋室」でくつろげたし、旅館のようなもてなしを受けて満足できた。また、雲仙や島原半島について思わぬ情報も得られ、将来に楽しみを残したことで、物足りなかった旅行も有意義だったと思うことにしよう。

## 受診時定額負担に反対する 署名運動にご協力ください

政府は、受診時定額負担の導入の動きを強めています。

高額療養費負担軽減に充てるとしてはいますが、別の病気で治療中の患者に負担を求める考え方は理屈が通りません。また定額負担 100円といっても、いずれ 500円、1,000円になっていく恐れがあります。特に受診回数の多い高齢者等の受診抑制へとつながり、症状の重篤化など健康被害を招くことも懸念されます。

なんとしてでも受診時定額負担の導入を阻止しなければなりません。受診時定額負担に反対する署名運動にご協力をお願いします。

会員一人 100人の署名をお願いします  
1,700の県医師会員が 100人の署名を集めれば 17万人  
16万 5 千の日医会員が 100人の署名を集めれば 1,650万人  
多くの国民の声を政府へ届けましょう！

### 署名運動の流れ

日医より、署名用紙、趣意書等が送付されています

趣意書、チラシなどを活用し、署名活動を実施してください

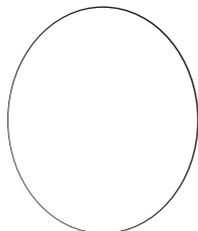
所属都市医師会に 11月 24日必着で署名用紙をご提出ください

最終的には日本医師会が取りまとめ、国会へ請願という形をとる予定です

署名用紙、趣意書等は下記ホームページからダウンロードできます

<http://www.med.or.jp/people/movement/>

## 随 筆



## 柱 時 計

宮崎市長 宮崎県健康づくり協会 ^{わた} ^{なべ} ^{かつ} ^し  
渡 邊 克 司

結婚してまもなく時計を買いに行った。振り子のついた柱時計で、ネジ巻き式である。時刻はやや高いボンボン音の数で知らされ、30分毎に1回の打音が鳴る。それまでの狭い借り住まいの部屋では、柱時計を掛ける柱も無かった。ようやく、公団アパートが抽選で当たり、時計でも買うかと、妻と天神町の時計屋に行った。

それから50年余を過ぎて、何回も引っ越しをしてきたが、故障することもなく持ち歩いてきた。最近、あまり調子が良くないので、分解掃除でもと時計屋に持って行くことにした。この50年の間に修理に出した記憶はない。すこぶる調子の良い時計であった。

時計屋に分解掃除を依頼すべく持参したところ、これは修理が出来るか否か分からないと言う。つまり、この手のゼンマイはメーカーも製造しておらず、ゼンマイが駄目なら修理はできないというのが第一声であった。主人はさっそくネジをまいてみて、これなら大丈夫であろうということであった。ところが、やっぱり修理に出しますかと聞いてきた。

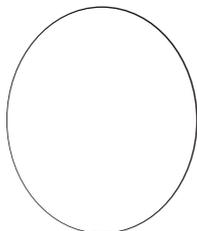
修理には約1か月は掛かり、1万円は要するであろうとのことである。要するに、今時、この手の古い時計を修理することの出来る職人は、年老いた古い職人だけで、宮崎にはおらず福岡に送るのだと言う。本人も出来ないのか、全くその気がない。さて、どうするかと一瞬考えた。もうすこしカネを出せば、見栄えもよい電気時計が店にはたくさん並んでいた。この古い時計

を修理するより、新しい時計を買った方がましではないかとの迷いがあった。しかし、妻がこの時計を気に入っていたし、結局、歴史と思いつのある古い時計の修理を依頼することにした。かねて感じていたことではあるが、今や我が国では物は修理して使うより、捨てる新しく買うほうが得という時代である。物不足の時代に育った私には甚だ抵抗感のあることである。

ところで、古い時計の修理が難しいことを知って、ふと思ったことは開業医の待合室にデンと置かれていた大きな置き時計のことである。開業に際しては大学の同門や同輩が大きな置き時計を贈る習慣があった。そこには、出身大学名と医学博士であることが分かるような表記があり、自己紹介としていくらかの役割を果たしていた。簡単な柱時計の修理が難しいのであれば、あの大きな時計は持ち運びも困難だし、どうなっているのかと気になった。考えてみると、最近の医院の待合室ではあまり見かけないようである。立派な電気時計が掛けられていることが多い。たまたま見かけた医院の大きな置き時計は、振り子は動いていなかった。

修理に出してから本当に1か月後に柱時計は手元に戻ってきた。その間、べつに時計が無い訳ではなく時刻を知るのに不自由はしなかったが、あのボンボンという音が聞かれないのは寂しいねと妻は言っていた。我が家で50年来存在する物品は妻が嫁入りの時に持参した小さなタンスだけである。

## 随 筆



## ペットボトル

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たにぐち じ ろう  
谷 口 二 郎

朝、愛犬『ロキ』と散歩に行く。その際、時間を見つけてはゴミ拾いをする。出掛ける前、引き出しにしまっておいたレジ袋の中から、大、中、小のサイズを選びポシェットに入れる。拾うゴミの量によって使い分ける為だ。天満橋から大橋まで 1 km の間を往復するのだが、行く時はどれ位ゴミが落ちているかをまず観察し、帰りにその量に合った大きさのレジ袋を使うのだ。

今日は歩き始めた途端、2 ℓ のペットボトルが 2 本も草むらに捨ててあったので、1 番大きなレジ袋だ。ゴミ拾いを始めた 10 年位前には、缶や瓶が多かったのだが、ここ数年前からはペットボトルが捨ててある事が多い。多くは 500 ml のものである。缶と違いペットボトルは踏みつけても小さくならないので、かさばりゴミ袋がすぐ一杯になる。

さて、コンビニやスーパーに行くと、ペットボトルに入った飲み物を沢山売っている。ほとんどが円筒、角型であるが、よく見るとなで型、いかり型など形のユニークな物もある。最近は炭酸飲料が人気とかで、サイダーや炭酸水の入ったカラフルなボトルなども並んでいる。

何気なく使っているペットボトルであるが、それにはいろんな工夫がしてある。例えば 2 ℓ のボトルは、中身が入っていると重さが 2 kg もある。そこでペットボトルの真ん中に 1 cm 位の窪みが付けてあり、持ちやすいようになっている。又、下の方がデコボコになっていて、外からの衝撃を吸収しやすいようになっている。

500 ml のペットボトルもほとんどが六角形の形をしており、持ちやすいようになっているのだ。

病院近くの路地には、いたる所に 2 ℓ の水が入ったペットボトルを何十本も置いてある。それは猫よけの為である。多い所は家の周りを囲うように置いてある。この付近は野良猫が多く、またそれに餌をあげる人がいるので猫が増え、いたる所にウンチやオシッコをする。それを防ごうという作戦だ。

車を走らせていると、ペットボトルを半分に切り羽を作り、まるで風車みたいに勢いよく回っている光景を見かける。羽の部分に赤、黄、青などの色が塗ってあり、カラフルで何かオシャレなオブジェみたいに見える。

テレビなどでは、ペットボトルに水を詰め圧縮空気を入れ、ペットボトルロケットにして遊ぶのも紹介されている。飛ぶものは 50m 以上も飛ぶそうなので、子供達は大喜びだ。

その他、底の部分を切り取って、メガホンにしたり、ペットボトルの中に小石を入れてマラカスにしたり、半分に切り、それに土を詰め、花を植え軒下に鉢にして吊るしたりもしてある。中に水を入れ、それを手に持ち上げ下げすると、鉄アレー代りになる。水を入れて冷蔵庫に入れて冷やしておき、スポーツ後にアイシングに使用したり、まさにペットボトルはいろんな活用法がある。

愛犬『ロキ』との散歩の時、自転車のカゴの中に、水の入った 500 ml のペットボトルが 4 本入れ

である。その他に割り箸、切り取ったティッシュの底の部分、トイレトペーパーが用意してあるのだ。これは『ロキ』が道路でウンチをしたら、それが硬い時は割り箸で、柔らかい時はティッシュの箱の底の部分ですくい、その後道路をトイレトペーパーで綺麗に拭き、まだ少し残っている部分に、ペットボトルの水をかけて流すのだ。

ペットボトルが当たり前のように使われるようになり10年以上にもなった。おそらく世界一

ペットボトルを使っている国民だろう。安くて、便利、言う事なしのペットボトルだが、是非ポイ捨てしないで再利用を…。ちなみに我が家では、使用したペットボトルは、私の愛飲の『シジウム茶』入れになっている。それは家内がわざわざお湯を沸かし、私の健康の為に作ってくれている秘蔵のお茶なのだ。いつも3～4本冷蔵庫に冷やしてあり、喉が渴いたら飲む。お陰で体の調子が良い。まさにペットボトル様々なのだ。

### 日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、御意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 字数は4,000字以内  
写真・図（カラー印刷はできません）も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします（写真1枚は約300字に相当します）。
2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任ください。  
なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。
3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご連絡ください。
4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。
5. ご投稿の原稿が他誌に掲載、または掲載中の場合はその旨お知らせ下さい。
6. 原稿は、メールの他、FAX、郵送等にも受け付けております。メールの場合はワードまたはテキスト形式で保存し、下記へお届けください（投稿項目、タイトル、ご氏名を明記してください）。なお、県医師会で原稿用紙を用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。

宛 先： 宮崎県医師会広報委員会

E-mail: genko@miyazakimed.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

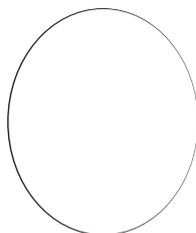
## エコー・リレー

( 435回 )

( 南から北へ北から南へ )

### 医院グリーン化の顛末

宮崎市 清水中央クリニック しの はら たつ お 篠 原 立 大



事の始まりは、東日本大震災でエコ化の盛り上がる中、医院のミニエコを考えた。

その一、5月の連休前、自宅に植えてあるハイビスカスが気付かないうちに、手の届かないほど大きくなっている

のをみて、ハイビスカスの鉢植えを行った。綺麗な花が次々に咲くが、日陰を提供するほどには成長していない。結論、数年はかかりそうである。効果は薄いが手間はかからない。

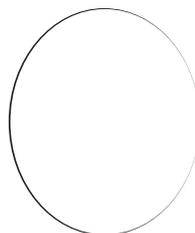
その二、公園に面した東側は午前中、日当たり抜群であるが、とにかく暑い。そこでヨシズをした。ヨシズは2千円くらい(×3)であったが、遮熱効果はあり、適当に透けるので、公園からの目隠しになり、エコをしている風情もばっちり、何より手間が掛からない。2年くらい使えば元が取れるかなー。

その三、5月～6月から、2階の病室のベランダにきゅうり、へちま 糸瓜、にがうり、朝顔、ミニトマトを、発泡スチロールの鉢に植えた。高校生の頃、西日の当たるエアコンの無い2階の部屋に、地面から朝顔を引き込み、グリーンの壁を作った。2匹目の「どじょう」であったが、今回は少し事情が違った。以前は地植えで、水遣りをしなくてよかったが、今回は鉢物であったので、朝夕2回の水遣りが大変であった。葉は割りと茂ったが、正直、室温を下げる効果はいまひとつ。果実のときは、トマトは数個、きゅうりは1本、糸瓜は0。にがうりは未熟なものが10数本。朝顔は可憐な花を沢山付けてくれた。

[ 次回は、宮崎市の伊井 敏彦先生をお願いします ]

### 单身生活

宮崎市 なか むら くに ひで 宮崎大学医学部 外科学講座循環呼吸 中 村 都 英  
・総合外科学分野

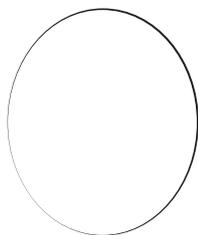


延岡で3年ほど单身生活を経験した。当然、官舎に戻っても食事が無い。それに驚く自分に驚いた。緊急手術や当直以外には朝夕の食事を作った。料理本も買ったが能力が伴わなかった。それでもコンビニ弁当より随分おいしい気がする。気がするだけだろう

が、防腐剤の入ったコンビニ弁当よりは気分がいい。居酒屋でと思うが、妻に逃げられた男と思われそうなので、作って食べた。夜にランニングをしたので体重も減った。それでも時間があるので本を読んだ。宗教を読んでみたら、イスラムにはかなわないと思ってしまった。教義に対して大いに違和感を覚えるが、宗教心の強さは並大抵ではない。次に、戦国武将に凝ってみた。利家は好きになったが、信長も秀吉も悪人と思ってしまった。そのまま時代を遡って飛鳥奈良時代まで凝ってみたら、純粋な日本人とは何者かあやしくなってきた。私にも異国の血が多分に入っているような気がしてきて、少し怖くなった。今度は、下手な字を直そうと思って、習字をしようと思立った。しかし、いくら練習しても、下手な字しか書けない。写経をすれば少しはうまくなるかと思い、般若心経の本を買って、写経をしてみたが、うまくならないし、面白くないので止めてしまった。本がもったいないので般若心経を覚えた。覚えるには内容を理解しないと不可能であったが、理解していくと無常観が漂ってきて、むなしくなってきた。ところが、眠れない夜に、般若心経を頭の中で数回となえてみると、いつの間にか眠っている。予期せぬ効果があったが、お釈迦様に悪い気がしてきた。单身生活をしてみて家族や妻の有難さが身にしみた。決して本業を忘れたわけではなく、医局員4人で診療や学術的仕事を行ったうえで経験した、たくさん勉強になった单身生活であった。

[ 次回は、延岡市の押領司 篤茂先生をお願いします ]

## メディアの目



## 宮崎・奄美・鹿児島

南日本新聞宮崎支局長

まえ だ あき と  
前 田 昭 人

ここの山の刈り干しやすんだよ あすは  
田んぼで稲刈るかよ

嘉徳なべ加那や 如何しやる生まれしち  
がよいー 親に水汲まち いちゆて浴める

(嘉徳のなべ加那という娘=実は神女=は、いっ  
たいどんな生まれなのか。親に水を汲ませて自  
分が浴びるなんて )

土曜の昼下がりに、FMラジオから民謡が流れ  
ている。前者はご存じ「刈り干し切唄」、後者は  
奄美シマ唄「嘉徳なべ加那節」である。

奄美勤務時代、奄美大島・瀬戸内町でのある  
宴会に呼ばれた、まだ中学生だった元ちとせの  
その唄を、間近で聴いたのが密かな自慢だ。も  
ちろん、彼女は覚えていないだろうが。ちな  
みに嘉徳はちとせの故郷である。

宮崎、奄美と鹿児島の歴史を少し考えてみた  
い。宮崎へは近世初期、島津氏が豊後・大友氏  
との合戦で耳川まで侵攻し、西南戦争では西郷  
軍が延岡周辺で敗走を重ねた。奄美へは1609年  
の島津の琉球征伐が有名だ。

いずれも鹿児島側の一方的な侵漁に近く、奄  
美側が鹿児島を襲ったのは10世紀末に見えるだ  
け。宮崎側からは志布志やえびの周辺など県境  
を、伊東氏が攻めたぐらいだろう。

なぜ一方的だったのか。奄美でも宮崎でも、  
時折考えた。

雪がめったに降らないなど、宮崎の海岸部や  
奄美は気候が温暖で土地が肥え、二期作もでき  
る。そのためか、人々の気質が穏やかだ。鹿児

島も似たような気候なのだが、シラス土壌での  
耕作は厳しい。

奄美に20年近く住み、よく旅をした作家の故  
島尾敏雄が、雑誌に書いていたことをおぼろげ  
に思い出す。

「鹿児島線で、広々とした水田が見える筑紫平  
野から熊本、八代を抜けて南下すると次第に山  
が多くなり、田んぼは小さくなる。暮らしのつ  
らさを思う」。

生活が厳しいからといって、他所を侵略して  
いい、とはならない。しかし優しい風土自ら、  
災いを増幅させてしまうことがある。昨年の口  
蹄疫禍がそうだった。

「緩みの連鎖」などのタイトルで何回か紙面  
化したが、畜産業最大の危機に遭っても、行政  
や一部農家の対処は甘いと感じた。当時の農相  
に「畜産県にあるまじき対応」などと批判された  
所以でもある。

この1年間で、口蹄疫と鳥インフルエンザを  
2回ずつ経験したのは宮崎だけ。この冬は何と  
しても汚名返上に力を注ぎたい。

一方で宮崎人の優しさは、東日本大震災への  
復興支援で遺憾なく発揮された。官民挙げての  
活動は全国でも特筆に値し、思わず「宮崎から  
寄り添う 震災ボランティアの夏」と題して連載  
した。

それにしても2つの民謡には、優しさが通奏  
低音のように響き合う。それをさらに生かす施  
策で、発展することを願うばかりだ。

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 9 月 ～

平成 23 年 8 月 29 日 ～ 平成 23 年 10 月 2 日 ( 第 35 週 ～ 39 週 )

### 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 結核 13 例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 1 例、疑似症患者 1 例、無症状病原体保有者 1 例で、患者は肺結核が 1 例、その他の結核 ( 頸部リンパ節結核 ) が 1 例であった【表 1】。男性 8 例、女性 5 例であった。年齢別報告数を【表 2】に示した。

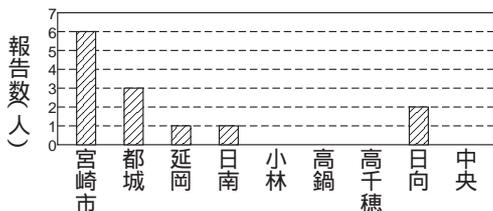


図 1 保健所別報告数 (人)

表 1 結核の病型及び報告数 (人)

肺結核	10
その他の結核	1
疑似症患者	1
無症状病原体保有者	1

表 2 結核の年齢別報告数 (人)

20 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代
1	1	3	6	2

3 類 腸管出血性大腸菌感染症 4 例が都城 ( 3 例 )、宮崎市 ( 1 例 ) 保健所から報告された。全て患者で、患者の症状は水様性下痢、血便、嘔吐、発熱、腹痛等がみられた。O 血清型及び毒素型別報告数を【表 3】、年齢別報告数を【表 4】に示した。

4 類 O レプトスピラ症 3 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の男性、60 歳代の女性、70 歳代の男性で、発熱、結膜充血、黄疸、蛋白尿等がみられた。

5 類 O ウイルス性肝炎 ( B 型 ) 1 例が延岡保健所から報告された。40 歳代の男性で全身倦怠感、発熱、肝機能異常がみられた。  
 O 後天性免疫不全症候群 2 例が宮崎市・延岡 ( 各 1 例 ) 保健所から報告された。30 歳代の男性と 50 歳代の男性で、2 例とも無症候性キャリア。  
 O 破傷風 1 例が宮崎市保健所から報告された。80 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、強直性痙攣がみられた。

表 3 腸管出血性大腸菌感染症の O 血清型及び毒素型別報告数 (人)

	VT1	VT2	VT1,VT2	VT
O 157		1		1
O 145			1	
O 103	1			

表 4 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数 (人)

2 歳	6 歳	30 歳代	60 歳代
1	1	1	1

### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,360 人 ( 定点あたり 101.0 ) で、前月比 90% と減少した。また、例年と比べると 104% と横ばいであった。

前月に比べ増加した主な疾患は RS ウイルス感染症と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は RS ウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、ヘルパンギーナであった。

RS ウイルス感染症の報告数は 678 人 ( 18.8 ) で前月の約 2. 倍、例年の約 4. 5 倍であった。日向 ( 61.5 )、延岡 ( 32.0 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下で全体の約 9 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 130 人 ( 3.6 ) で前月の約 7 割、例年の約 4. 2 倍であった。日向 ( 12.8 )、延岡 ( 9.0 ) 保健所からの報告が多

表 前月との比較

	9 月		8 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当り (人)	報告数 (人)	定点当り (人)	
インフルエンザ	0	0.0	1	0.0	
RS ウイルス感染症	678	18.8	254	7.1	
咽頭結膜熱	95	2.6	116	3.2	
溶レン菌咽頭炎	189	5.3	125	3.5	
感染性胃腸炎	744	20.7	622	17.3	
水痘	182	5.1	177	4.9	
手足口病	476	13.2	961	26.7	
伝染性紅斑	130	3.6	201	5.6	
突発性発しん	209	5.8	188	5.2	
百日咳	2	0.1	1	0.0	
ヘルパンギーナ	279	7.8	694	19.3	
流行性耳下腺炎	319	8.9	272	7.6	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	47	7.8	66	11.0	
細菌性髄膜炎	1	0.1	1	0.1	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	8	1.1	3	0.4	
クラミジア肺炎	1	0.1	0	0.0	

例年同時期 ( 過去 3 年の平均 ) より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

く、年齢別では3歳から6歳で全体の約7割を占めた。

手足口病の報告数は476人(13.2)で前月の約半数、例年の約1.7倍であった。小林(25.7)、中央(24.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳で全体の約8割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は279人(7.8)で前月の約4割、例年の約1.4倍であった。延岡(37.3)、中央(26.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳で全体の約8割を占めた。

### 月報告対象疾患の発生動向 9月

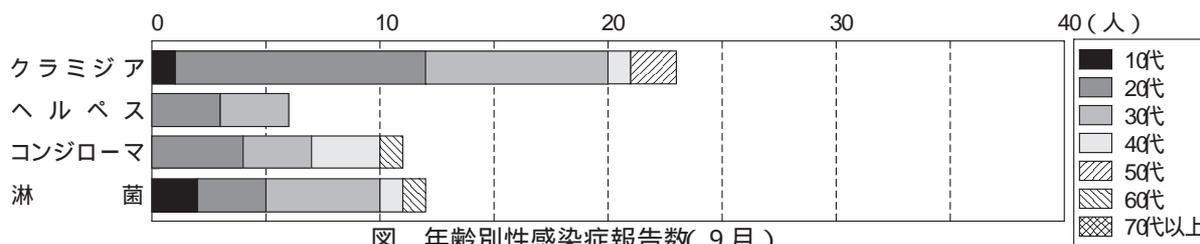
#### 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は52人(4.0)で、前月比120%と増加した。また、昨年9月(4.2)とほぼ同数であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月とほぼ同数、前年の約7割であった。延岡(5.5)、日向(3.0)保健所からの報告が多く、男性14人・女性9人で、20歳代が全体の約半数、30歳代が全体の約4割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約8割、前年の約3倍であった。男性4人・女性2人で、20歳代・30歳代が各3人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数11人(0.85)で、前月の3.7倍、前年同月には報告がなかった。男性4人・女性7人で、20歳代が4人、30歳代・40歳代が各3人、60歳代が1人であった。
- 淋菌感染症：報告数12人(0.92)で、前月の約1.3倍、前年の約6割であった。男性11人・女性1人で、30歳代が全体の約4割を占めた。



【全国】定点医療機関総数 959

定点医療機関からの報告総数は4,538人(4.7)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,362人(2.5)で前月比103%、性器ヘルペスウイルス感染症720人(0.75)で前月比97%、尖圭コンジローマ469人(0.49)で前月比98%、淋菌感染症987人(1.0)で前月比98%であった。

#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は24人(3.4)で前月比67%と減少した。また昨年9月(5.1)の約7割であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月の約6割、前年の約7割であった。宮崎市(11.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約半数、5歳未満と60歳代がそれぞれ約2割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数4人(0.57)で、前月の約1.3倍、前年の約6割であった。宮崎市(3.0)、日南(1.0)保健所からの報告であった。5歳未満が3人、70歳以上が1人であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数は1人(0.14)で前月と同数であった。70歳以上の女性であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】定点医療機関総数 467

定点医療機関からの報告総数は2,201人(4.7)で、前月比88%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,878人(4.0)で前月比87%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症262人(0.56)で前月比84%、薬剤耐性緑膿菌感染症56人(0.12)で前月比120%、薬剤耐性アシネトバクター感染症5人(0.01)であった。(宮崎県衛生環境研究所)

## 各都市医師会だより

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会病院は、平成 9 年 3 月より災害医療支援拠点病院に指定されています。当時の厚生省によって示された指定要件はほぼ満たしていますが、今回の東日本大震災を契機に要件が見直されようとしています。災害時用の通信回線、EM IS (広域災害救急医療情報システム) への入力体制、自家発電機のキャパシティ等が議論されており、今後これらへの対応を求められるものと思われます。(川名 隆司)

◇ ◇ ◇ ◇

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

医師会病院の新築移転と新法人移行の 2 つが当医師会の抱える当面の重要案件です。新築移転については設計業者の選定が終わり、平成 26 年度の開院を目指しこれからもたくさんの作業を積み重ねていくことになります。周囲の状況をみれば、世界では欧州のソブリン危機 (日本の国債はまだ大丈夫?)、国内では東日本大震災による未曾有の被害、増え続ける政府の借金、社会保障の自然増に全く追いつけない税収など問題山積です。しかし、当地域にとって絶対必要な病院をきちんと新生し継続していかねばなりません。会員みんなで力を合わせ前進していきたいと思っています。(榎原 進一郎)

◇ ◇ ◇ ◇

### 延 岡 市 医 師 会

「延岡市の地域医療を守る条例」の制定など延岡市における先進的な取組みは全国的にも注目をされているが、医師会、行政、地域住民 3 者の連携は必ずしも盤石ではない。住民活動の代表は「県北の地域医療を守る会」であるが、これまで当医師会との繋がりは決して深いものではなく接点はむしろ少なかった。9 月に市の呼び

かけで、守る会と医師会との意見交換会が開かれ、お互いに目指すところは同じであり、それぞれが協力することでより良い結果が得られると 3 者とも認識を新たにしました。全国大会として行われてきた「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム」が、地方シンポジウムとして初めて延岡市で 11 月 12 日に開催される。これを機に 3 者のさらなる関係強化を図る必要がある。

(佐藤 信博)

◇ ◇ ◇ ◇

### 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

早いもので、本年度の看護高等専修学校の授業も後半に入ってまいりました。10 月 20 日実施の奉仕活動も 3 回目を迎えました。看護師の基盤となる豊かな人間性を育む一助となればと考え導入しましたが、学生にもカリキュラムとして定着しつつあるようです。数回の活動で道徳的実践力が身につくとは思いますが、日頃の看護実習とリンクして行うことで、看護師に必要な思いやりの心が育っていくことを期待しているところです。(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

口蹄疫が児湯西都地域を襲い既に 1 年経過しました。当時は開院から 2 年ほど経過した時期で、患者さんの悩みや極度の不安に接することが多く、一医療従事者として地域に根ざすとはこういうことなのかと、未経験で不慣れながらも考えさせられました。少なくともその時期に比べれば患者さんの表情は良くなっているように思えます。医療、精神ケアの面で少しでも支えることができるよう、今後も児湯医師会員の皆で頑張っていきたいと思ひます。

(山口 真太郎)

◇ ◇ ◇ ◇

## 西都市・西児湯医師会

緑と自然の豊かな西都原では、菜の花・桜・ツツジ・あじさい・コスモスなど四季折々の花が楽しめます。ちょうど10月中旬から11月中旬にかけては8ヘクタールの畑に300万本のコスモスが咲き誇っています。

去る10月2日、当医師会ゴルフコンペが行われました。これまで年4回のペースでの開催でしたが、今年は東日本大震災、台風などで3月以来の2回目でした。会員数が少なく運動会シーズンとも重なりましたが、関係者の協力のおかげで2組確保できました。スタート時は残暑が厳しく感じられましたが、くもり時々晴れの素晴らしい秋のゴルフ日和でした。（齊藤 寿）

◇ ◇ ◇ ◇

## 南 那 珂 医 師 会

日南には飫肥城や伝統的建造物群など城下町のたたずまいを有する飫肥があります。ここに

1936年(大正11年)に開業した洋館「旧飯田医院」があり、保存のための募金活動が行われています。毎年10月には飫肥城下まつりにて江戸時代から伝わる郷土舞踊の泰平踊が披露されます。当医師会も協賛しており、東日本大震災を思うたびに後世に残していくことの大切さを痛感します。（江藤 琢磨）

◇ ◇ ◇ ◇

## 西 諸 医 師 会

介護保険は10年が経過した。介護保険に医師会の理事として当初から関わってきたが、委員の選定、審査会の方法、そして意見書の書き方等まだ問題が山積されている。今後、ますます高齢化社会となり医療と福祉そして行政との連携が大切となる。今後も微力ながら医師として、また理事として協力していこうと考えております。（池井 義彦）

◇ ◇ ◇ ◇

## 女性医師メーリングリストのご案内

仕事や育児のちょっとした悩み相談やお役立ち情報の提供など、女性医師同士で気軽に情報交換を行いませんか。女性医師であればどなたでも参加できます。医師会の会員・非会員、現在の仕事の有無などは問いません。

## お申し込み

E-mail: wdr-admin@iyazaki.med.or.jp

FAX: 0985-27-6550

「女性医師メーリングリスト申込書」は、宮崎県医師会ホームページのDoctors Pageからダウンロードできます。

## お問い合わせ

宮崎県医師会

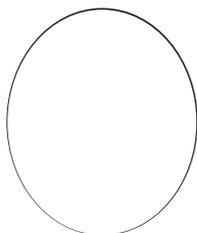
TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 小川

## 国公立病院だより

### 小林市立病院



つばうち ひとし  
坪内 齊志 病院長

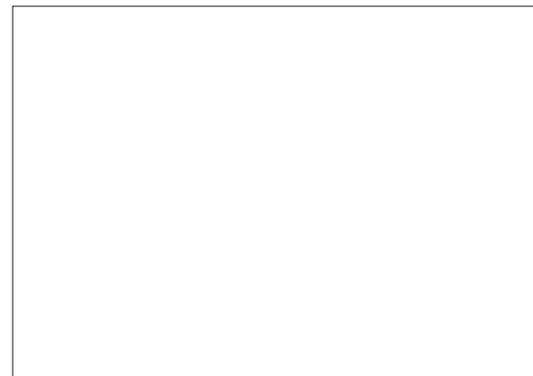
平成 22年 3月病院長を拝命し、初めての寄稿となります。

昭和 59年鹿児島大学を卒業し、平成 12年 7月に当院へ赴任いたしました。平成 22年 1月、鹿児島大学の内科医引き上げに伴い野本前院長が内科診療に専念せざるを得ない事態となり、突然の引き継ぎとなりました。同大学旧第一外科に所属し消化器外科医として当院へ参りましたが、着任後は専ら管理職業務に追われ臨床は疎かになっています。

さて、平成 22年 9月に当院は写真にあります新病院へ引っ越ししました。免震構造地上 5階建て延床面積は約 11,600㎡で、旧病院の 1.4倍以上の広さとなりました。各部門は患者やスタッフの動線に配慮して配置され、64列マルチスライス CT や 1.5T スラ MRI など最新鋭の医療機器を備え、また電子カルテや PACS 等 IT 化も完了し、近代的な病院へと生まれ変わりました。

外来は、大規模災害に備えて広いトリアージ室としても使用できるよう待合室を整備し、またアメニティーを向上させた外来化学療法室 (4床) を設置しました。2階手術部は、1室の無菌室を含む 3室を配備し、さらに 1室追加可能なスペースを確保してあります。

病棟は 22の 4床室と 59の個室からなり、4床室では廊下側のベッドにも専用の窓を設け、さらにすべての病室に洗面スペースとトイレを、各病棟にはデイラウンジと家族室および面談室をそれぞれ配置しました。3階病棟にはシャワー



ルームも備えた産科用個室を 4部屋、4階および 5階にはそれぞれ特別室を 2部屋、また 5階には小児科用にプレイルームを設置しました。南側の各病室からは霧島連山が、北側の病室からは九州山地の山々が一望でき、さらに屋上の展望スペースからは 360°のパノラマが満喫できます。

しかし移転準備の最中、平成 22年 7月に鹿児島大学旧第一内科より 9月末での 1名削減の連絡がありました。9月 24日に新病院への移転が完了しましたが、さらにその直後の 10月に、平成 22年 1月末で残り 2名を引き上げるという通知文書が届きました。まさに青天の霹靂の出来事で、当初の計画が根底から覆され職員一同途方に暮れてしまいました。事実上内科入院治療は不可能となり、外来も大幅に縮小せざるを得ず 1,600以上の逆紹介を周囲の医療機関へお願いしました。あわせて平成 22年 1月には、西諸医師会の先生方へ今後の当院の医療体制を説明させて頂き、御理解を求めました。また、鹿児島大学および宮崎大学等へ内科医師派遣のお願いに上がりましたが、各医局の医師不足はより深刻な状態で、早急な解決は糸口すら見えませんでした。一方、医師数がさらに減少すれば病院存続も危うく、残されたスタッフで対応し得る入院患者数を考慮し、移転 4か月後の平成 22年 1月下旬に 3階病棟を閉鎖し、感染病床 4床を

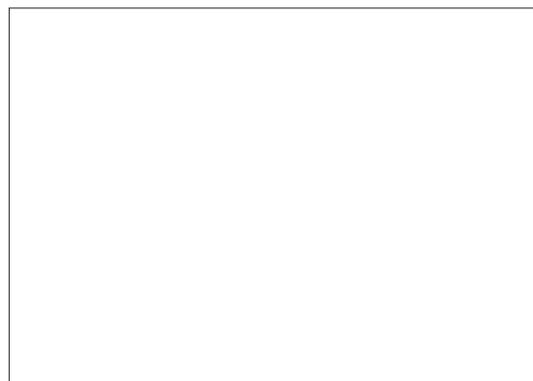
含めて98床での運営へ変更しました。

このような危機的状況で病院長を拝命しましたが、先ず当院の存在意義を問い、西諸医療圏におけるその役割を明確にすることから始めました。当医療圏には一般病床150床以上の医療機関は存在せず人口約8万人に対し当院が最大で、他に中核病院としての十分な機能を備えた病院はありません。地域の基幹病院としての当院存続には概ね異論はなく、残されたスタッフで担い得る責務を多角的に検討しました。その結果、入院医療と二次救急に特化することが当院の存在意義を示す残された役割として、周囲に理解を求めました。

この窮地に、西諸医師会には即座に対応して頂き、平成22年4月には西諸医師会夜間急病診療体制および休日小児科診療体制が整備されました。前者は、平日19時から22時まで自院もしくは当院で一次救急患者の診療を、後者は従来の在宅当番医に加え、休日午前中に自院での診療をして頂いています。さらに病診連携を深め、医師会と協働して地域医療を支える体制の構築を目指しています。

一方、行政もいち早く対策に乗り出し、平成22年12月には延岡市に倣って「地域医療対策室」を新設しました。また、医師会との連携を深めるために定期的な意見交換会を整備し、さらに住民の理解を求めため広報等で情報周知に努め、住民運動を積極的にバックアップした結果、平成22年7月に「地域医療を考える会」が発足しました。

同会では、会員の定例会を開催して当地の医療が抱える問題を協議し、各地開催の講演会等へ積極的に参加し認識を深め、地域への広報のためのパンフレットやDVD等を作製してきまし



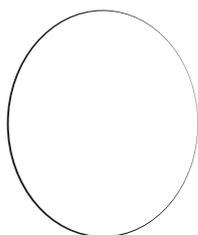
た。また住民を交えた勉強会や著名な講師を招いての講演会を開催し、一致団結しての協力を地域へ呼びかけています。さらには、当院の新任医師や院内研修に参加した各職種学生の歓迎会や、宮崎大学医学部学生との交流会も開催しています。

一丸となった周囲の応援体制は着実に整ってきました。しかし、医師不足は早急には解決せずしばらくは当院現体制の改善は望めませんが、残された我々職員はその期待に応えなければなりません。そのような中、今年春2名の医師が新たに着任しました。本年度は入院患者数および救急車受入台数も増加し、6月には「地域医療支援病院」の認可を受けました。また10月より改装により105床での運営となり、わずかではあります前年の兆しが見えつつあります。しかし、昨年度末での累積欠損金は9億円にせまり、今後の収支予想でも現状の運営形態では長期にわたり黒字化は困難な見通しで、未だ存続すら危ぶまれる状態であることは変わりありません。多大なご協力を頂いている医師会の先生方や地域住民の期待に少しでも近づけるよう、山積された問題に立ち向かい職員一同力をあわせて引き続き病院再建に努める所存です。

(坪内 齊志)

## 宮崎大学医学部だより

### 機能制御学講座 - 薬理学分野 -



むらかみ まなぶ  
村上 学 教授

薬理学講座は平成 22年 3月, 和田明彦先生が御退官, 九州保健福祉大学・学長に栄転されました。平成 23年 1月より村上学が教授職を拝命しました。現在のスタッフは村上のほか, 柳田俊彦

准教授, 根本隆行助教と川畑恵子事務職員という小講座です。その他, 大学院在学時に研究室に在籍していた先生や基礎配属経験者が数名, 出入りしております。研究戦力であった麻醉生体管理学分野助教の丸田豊明先生が米国ワシントン大学(セントルイス)へ留学され, 寂しくなりました。

基本的に“人員不足教室”です。一方, 一人当たりのスペースは広く, “人間中心”(各個人の生活, 都合等が最大限優先される)の教室とも言えます。実人数を考えますと, 相当, 教育・研究成果を出していると自負しております。

「人を大切にする, やさしさと厳しさのある教室」です。医学部基礎教室に属する人間の社会的地位の確立など, 教室員の将来を真剣に考えております。今日の少子化と医師不足の現状を考慮すると, 一人ひとりが自覚を持つこと, また, 持てるような環境整備, さらにセーフティーネットの確立が必要です。伝統の薬理学にとどまらず, 何らかの“プラスアルファ”を各人が持つように, 日々努力しております。

#### 教 育

医学部 3年次の薬理学講義・実習を中心に担

当しております。

授業する者の実感として, 医学部学生の質の高さがあります。残念なのは, “テスト勉強の対策に習熟しすぎている者”が多いように見えます。人生は試験だけではありません。個々の人生や将来を真剣に考える時間のある学生時代を送らせてやりたいようにも思います。

地域貢献として, 中高生向けの「科学どっぴり合宿」に参加させていただきました。若い学生さん達から学ぶことも多く, 有意義な機会です。  
研 究

ウシ副腎髄質クロマフィン細胞の初代培養が教室の重要な伝統技術です。従来はインスリン受容体のシグナル伝達機構に関する薬理が主要テーマでした。平成 23年より分子薬理学を標榜し, 遺伝子関連の技術(クローニング, 遺伝子改変動物作製など)を開始しました。まずは論文が出る教室体制の確立を目指しております。チャネルDNAの発現実験や細胞内カルシウム測定など, 比較的平易な手法を組み合わせ, 大手の大学・教室に負けない実績を出そうと, がんばっております。

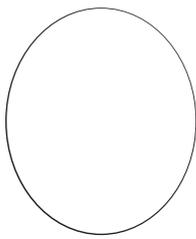
新たな展開として, オレキシン(摂食, 睡眠関連のペプチド)など, 受容体の研究も展開しています。今後はトランスジェニックマウスなど, 小動物の循環器解析(心電図, 血圧測定, 心筋収縮, パッチクランプなど)も展開していきたいと考えます。

#### まとめ

“魅力ある薬理学教室”を創るのが, われわれ教室員の使命です。新しいことを研究できる喜びを再確認しています。「実験は楽しい」ということを, 若い先生方が肌で理解し, 薬理を人生の選択肢に加えてくれたら幸いです。(村上 学)

## 部会だより

## 勤務医部会

とよた きよかず  
豊田 清一 部会長

勤務医部会は、昭和62年に宮崎県医師会の部会として発足し、勤務医相互の連携、研修、福祉の増進および親睦を図るとともに、地域医療および学術研究に協力することを目的として活動を行っています。

平成23年9月末現在の県医師会員数は1,695名で、その内訳は開業医797名(47%)、勤務医898名(53%) - 男性医師1,514名、女性医師181名 - となっています。ちなみに宮崎県の医師数は、平成20年12月末の医師届けによると2,602名であり、そのうち勤務医は1,840名(70.7%)であります。県医師会に未入会の勤務医の先生方が多数おられるようです。

平成22年度の勤務医部会の活動状況は以下のとおりです。

勤務医部会理事会(年4回)

勤務医部会総会(平成22年6月5日)

全国医師会勤務医部会連絡協議会参加(平成22年10月9日：宇都宮市)

都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会参加(平成22年11月19日：日医)

勤務医部会講演会(年2回)

・前期講演会(平成22年6月5日)

講演1：「泌尿器科領域における最近の手術～コンセプトの転換?～」

賀本 敏行先生(宮崎大学医学部外科学講座泌尿器科学分野教授)

講演2：「医療のメカニズムと司法のメカニズム」

大磯 義一郎先生(国立がん研究センター がん対策情報センター)

・後期講演会(平成23年2月19日)

講演1：「口腔外科の最新治療」

迫田 隅男先生(宮崎大学医学部  
感覚運動医学講座顎顔面口腔外  
科学分野教授)

講演2：「Aiセンターが地域医療を救う。」

海堂 尊先生(医師・作家)

講演会では、高名な講師を招聘し、それぞれの時期に即した医療に係る諸問題、高度・最新医療などについて、専門的な立場より有意義で内容の濃い講演を賜っています。“眼からうろこが落ちる”ようなお話が拝聴できますので、会員以外の先生方にも奮ってご参加いただければ幸甚であります。

度重なる医療制度改革や新医師臨床研修制度を契機とした医師の偏在・診療科の偏在などによる地域医療の格差など、医療を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、地域医療を維持することが困難な状況にあります。地域医療を守るためには、解決しなければならない課題が山積しており、医療従事者、行政機関、地域住民、メディアなどの協働による地域完結型の医療体制構築への取組みが肝要であります。

勤務医部会として、これからも医師会員の先生方との意見交換・情報交換などによる連携強化を行うとともに、部会活動のさらなる活性化を図り、地域医療に貢献してまいりたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、県医師会員の先生方の講演会への積極的なご参加と、未入会の勤務医の先生方の県医師会ならびに勤務医部会への入会を切望しております。(豊田 清一)



## あなたできますか？

平成 22年度 医師国家試験問題より

( 解答は 46ページ )

- 1 . 急性副腎不全時に血中で低下するのはどれか。  
2つ選べ。  
a ブドウ糖  
b 尿酸  
c ナトリウム  
d カリウム  
e カルシウム
- 2 . 多発性内分泌腫瘍 ( MEN ) 型にみられるのはどれか。2つ選べ。  
a 先端巨大症  
b 褐色細胞腫  
c 甲状腺髄様癌  
d 副甲状腺機能低下症  
e Zollinger - Ellison症候群
- 3 . 我が国の公的医療保険について正しいのはどれか。  
a 国民健康保険法と国民年金法とで規定される。  
b 健康診断は給付の対象外である。  
c 医療給付は現金給付で行われる。  
d 保険料は一律同額である。  
e 任意加入である。
- 4 . 肝臓の解剖で正しいのはどれか。  
a 門脈は肝動脈よりも細い。  
b 門脈と肝静脈とは並走する。  
c 下大静脈は肝臓の腹側に位置する。  
d 肝円索を肝側にたどると肝静脈に達する。  
e 右肝静脈は右葉の前区域と後区域の境を走行する。
- 5 . 疾患と症状の組合せで誤っているのはどれか。  
a 子癇 ————— けいれん  
b 前期破水 ———— 水様帯下  
c 前置胎盤 ———— 血性帯下  
d 妊娠悪阻 ———— 下腹部痛  
e 胎児機能不全 — 胎動減少
- 6 . 糖尿病患者がインスリンを自己注射する部位はどれか。  
a 皮内  
b 皮下  
c 筋肉  
d 静脈  
e 動脈
- 7 . 疾患と発生母地の組合せで正しいのはどれか。  
a 乳房外 Paget病 — Bow en病  
b 有棘細胞癌 ———— 熱傷瘢痕  
c 悪性黒色腫 ———— 黒色表皮腫  
d 血管肉腫 ———— 血管拡張性肉芽腫  
e 菌状息肉症 ———— 体白癬
- 8 . 生活活動強度 の 30歳の男性の 1日摂取目標量として適切なのはどれか。  
a 鉄 1mg  
b 脂質 150g  
c 糖質 100g  
d 蛋白質 70g  
e カルシウム 200mg
- 9 . 細菌検査の検体で原則として室温保存するのはどれか。  
a 尿  
b 便  
c 喀痰  
d 髄液  
e 胸水
- 10 . ブドウ糖負荷によって血中濃度が影響を受けるのはどれか。  
a プロラクチン  
b 成長ホルモン  
c 甲状腺刺激ホルモン  
d ノルアドレナリン  
e プロゲステロン

## 各種委員会

## 介 護 保 険 委 員 会

と き 平成 23年 9月 26日(月)

と ころ 県医師会館

## 1. 主治医研修会について

毎年、県から委託されて行う介護保険主治医研修会について企画を行った。

内容は「認知症」、「整形外科領域の疾患」、「がん終末期」の主治医意見書の書き方のポイントについて、審査員や審査員経験者に講師をお願いし講演をしてもらう。2月にテレビ会議システムを利用して開催する。

## 2. 宮崎県医師会介護支援専門員連絡協議会の解散について

平成 12年より介護支援専門員の資格を持った医師を主な会員とし活動してきた。しかし、当初は医師が介護支援専門員になって活躍することが期待されていたが、現在は医師で実際にケアマネジメント業務をされている方はほとんどいない。また、研修会を開催しても参加される方が非常に少ないこと、すべての職種が参加する宮崎県介護支援専門員協会の活動が活発になっていることから、歴史的な役割は終わったということで、本年度限りで解散をすることになった。

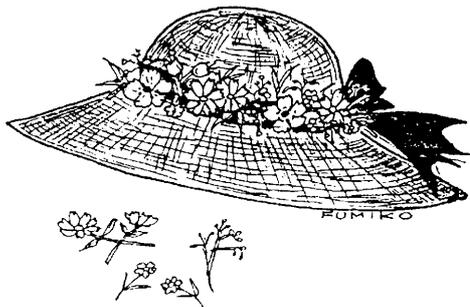
## 3. 宮崎県医師会在宅医療連絡協議会(仮称)の設立について

日医が在宅医療協議会を7月に立ち上げた。本県には多職種が参加する自主的な会はあるが、県から事業が下りてきた時の受け皿となるような会がないので、県医師会で立ち上げたい。在宅支援診療所だけでなく、すべての在宅医療を行っている医師、有床診療所や小児科医師などにも幅広く参加していただきたい。

出席者 牛谷委員長，山路副委員長，  
宮本・三股・松本・川越・池井・  
鳥取部・谷口・中島委員  
(県医) 河野副会長，立元・石川常任理事，  
金丸・矢野理事，小川課長，  
久永課長補佐

## お知らせ

## カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

## 原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会  
〒 880-0023  
宮崎市和知川原 1 丁目 101  
genko@m iyazakim ed.or.jp

## 各種委員会

### 第 7 回公益法人化検討委員会

と き 平成 23年 10月 7日(金)

ところ 県医師会館

川名委員長の開会宣言の後、稲倉会長から挨拶が行われ、報告に入った。

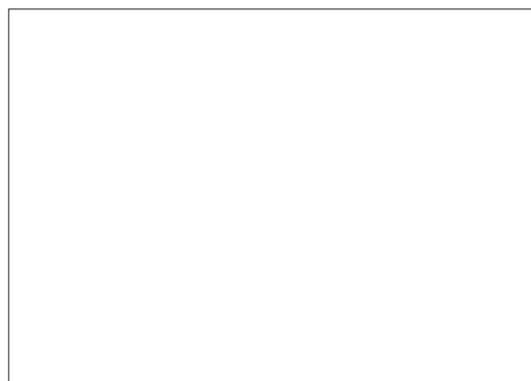
#### 報 告

#### 1. 公益社団法人宮崎県医師会 定款変更案について

2 月の中間答申の後に 2 回ほど検討委員会を開催し、定款変更案について検討頂いた。それを整理の上、9 月に県の担当課に申請書類等を提出している。その後も定款変更案の検討を重ねてきたが、文言がすっきりしない箇所、スムーズな運営をするには表現を変えた方が良いという箇所等が出てきた。そのほか県からの指摘事項なども考慮して、内容を整理させて頂いた。本日は変更箇所についてご報告させて頂き、ご了承を頂きたいという執行部からの説明の後、変更箇所について報告が行われた。

#### 1) 委員から

- ・会長、副会長の選任を代議員会で行った後、理事会で選定ということであるが、理事会において解職した場合はどうなるのか。  
もう一度、代議員会にて会長候補者、副会長候補者の選任を行う必要が出てくると思われる。
- ・第 32 条に役員 の 定員があるが、予定の定員以上の候補者が出た場合、23 名以内であれば、理事として認めることになるのか。  
現在、選挙細則の検討に入っており、選



挙の手順を決めようとしているが、会長候補者と副会長候補者を決めた後、選出すべき役員数を新会長候補者の意見を聞いて決めてもらってはどうかという方向になっている。新会長候補者の意向を汲むことで、この問題については解決できるのではと思う。

- ・第 36 条で「代議員会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者を、理事会において選定することとする」として、備考欄には法人法に規定する事項及び定款で定めた事項に限り決議できるとされている旨の説明がなされているが、これは一般社団法人の考え方のことを言っているのではないか。  
一般社団法人のうち、公益認定を受けた法人が公益社団法人と呼ばれる。したがって一般社団法人に対する規定は公益社団法人にも適用される。

#### 2) 執行部から

- ・日本医師会の定款・諸規程改定検討委員

会における議論の進捗状況について、下記のとおり情報提供があった。

- 〔日医代議員任期 選出後最初の定例代議員会開催日より2年後の定例代議員会開催日の前日まで(日医定例代議員会の開催時期は6月下旬を想定している) 代議員及び予備代議員の報告 5月31日

までに

これに従い、各都市医師会に委託する県医代議員の報告は4月末までに行っていただくようお願いすることとなる。

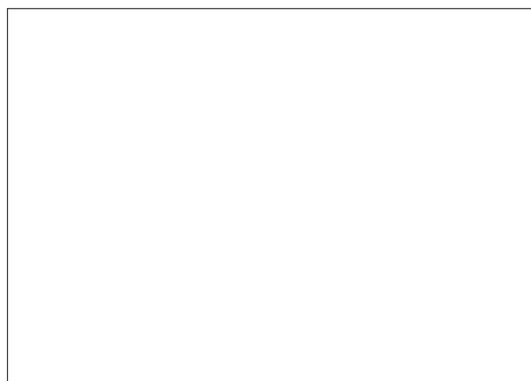
- ・移行と同時に(移行の登記をすることを停止条件として)就任する最初の理事、監事を選任した場合には、任期の起算日(始期)は、選任時ではなく、移行の登記時となる。よって、4月1日からとなる。(内閣府FAQ -4 - 任期の起算点)

### 3) 委員長から

昨年8月に公益法人化検討委員会が立ち上がり、会長から「公益法人制度における方向性と定款案の検討」ということで諮問を受け、7回議論してきた。2月に「公益法人・一般法人両睨みで作業を進めるべし」との中間答申も出した。

結論から申し上げますと、もうそろそろどちらにするか決める時期ではないだろうかと思う。私個人の意見としては、県医師会は公益法人を目指すべきだと考える。その理由としては3つあるが、宮崎県の現状である若手の医師がいないなどの医師不足をはじめ、救急医療、小児医療、周産期医療など色々な問題を考えながら、県医師会としては公益事業をしていく訳であり、公益事業をするには行政とのタイアップが必要である。行政の委託事業を引き出す上では、公益法人が望ましいということが1点目である。2点目として、銀行等の融資を引き

出す上でも一般法人よりも公益法人の方が有利なのではないかということがある。3点目としては、寄付を受ける時に寄付者側が寄付金控除の対象となり、メリットがあるため、こういう3点の理由から県医師会としては公益社団法人に移行することが妥当と考える。



### 4) 委員から

- ・私共の地区医師会としては一般法人を選択しているが、県医師会は公益法人が良いと思う。
- ・最終的には公益法人に行かないといけなないのであれば、最初から思い切って公益法人に行っていた方が良いのではと思う。

### 5) 委員長から

委員会としては、県医師会は公益社団法人に移行するという事で、まとめさせて頂きたいと思う。答申については案を作成し、委員の先生に見て頂いた後、意見をまとめ答申案として会長に提出するという方向で行きたい。

出席者 - 川名委員長、鮫島・青柳・富田委員  
(県医) 稲倉会長、河野・富田(重複)副会長、  
立元常任理事、大重事務局長、  
與・竹崎課長、小川課長補佐、  
松本係長

## 平成 24年度九州医師会医学会第 1 回準備委員会

と き 平成 23年 9月 13日(火)

ところ 県医師会館

立元常任理事の司会により開会，稲倉会長の挨拶に続き，報告・協議が行われた。

### 報 告

立元常任理事より，去る 5月 21日に佐賀市にて開催された九医連常任委員会(九州各県医師会長会)及び九医連定例委員総会において，平成 24年度の担当を宮崎県医師会にすることが正式に承認されたとの報告があった。

### 協 議

#### 1. 第 11回九州医師会総会・医学会の開催の日程・場所について

開催期日については，平成 24年 11月 23日(金・祝)に前日諸会議，翌 24日(土)の午前中に日本医師会長による中央情勢報告，同日午後には総会・医学会，翌 25日(日)に分科会と記念行事とすることを提案し，承認された。

また，会場については，学会参加者の利便性等を勘案し，シーガイアコンベンションセンター周辺に集約した形での開催を提案し，承認された。

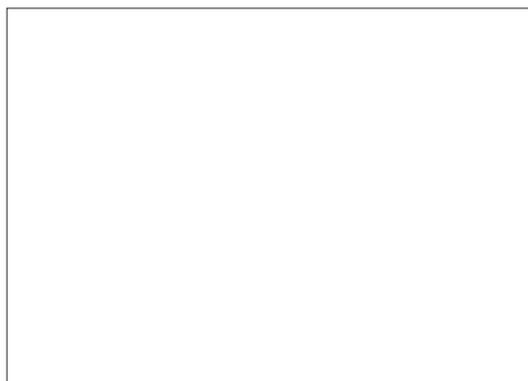
#### 2. 医学会の特別講演について

11月 24日(土)に開催が決まった医学会の特別講演講師として，本会名誉会員で，平成 22年度文化功労者に決定された松尾壽之先生と，本県ゆかりの伊東マンショに造詣が深い宮崎大学教育文化学部の竹井成美先生の招聘を提案し，承認された。

#### 3. 分科会について

#### 4. 記念行事について

分科会および記念行事については，準備委



員会に先立ち，前回の宮崎での開催実績等に基づき，事前に意向調査を行い，7分科会・6記念行事より開催希望との回答を得た。この結果をもって開催とすることを提案し，承認された。開催が決定した分科会・記念行事は以下の通り。

分科会 内科学会・小児科学会・外科学会・整形外科学会・産科婦人科学会・東洋医学会・産業医学会

記念行事 ゴルフ大会・テニス大会・サッカー大会・走ろう会大会・囲碁大会・卓球大会

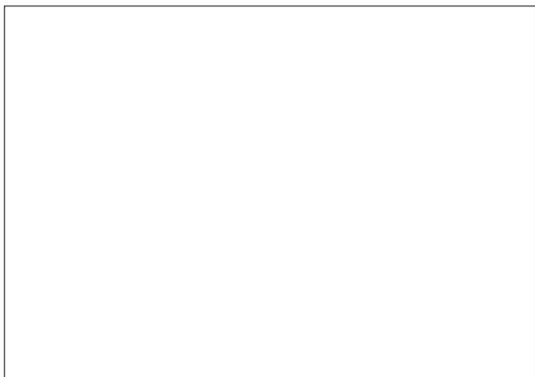
#### 5. 組織づくりについて

執行部および事務局の業務分担表が提示され，改めて関係各位への協力依頼を行った。

また，各分科会・記念行事には，連絡係として本会職員を配置する等の説明があった。

#### 6. 各種会場の確保について

フェニックスシーガイアリゾートの担当者より，11月 23日(金・祝)~ 25日(日)のシーガイアコンベンションセンター(主会場)に関しては，一部を除いて全館予約している。また，



記念行事の会場についても、前回(平成16年度)同様に確保できていると説明があり、スタッフ3名体制でしっかり受入れをさせていただいたので、よろしくお願ひしたいと挨拶が行われた。

また、記念行事の卓球大会については、会場が未確保のため、追って検討していくことになった。

ここで、本日出席されている分科会長・記念行事の世話人の先生から、現時点での予定の説明および質問等が行われた。

#### 7. 記念品等について

立元常任理事より、毎年、九州医師会総会・医学会の参加者へ記念品を贈呈しているので、情報をお持ちの方はお願ひしたいと説明・依頼があった。

#### 8. 次回準備委員会の開催について

次回の準備委員会は、本年度の九州医師会総会・医学会関係行事が終了した後の12月頃に開催し、各分科会・記念行事の意向と進行状況等の確認をすることで了承された。

出席者 中山副医学会長

(各都市医師会)

牧野(延岡)・渡邊(日向)・児玉(西都)・山元(南那珂)・槇(西諸)・池ノ上(宮大医)会長

(各専門分科医会)

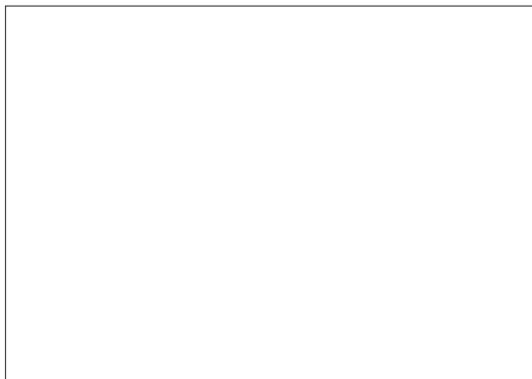
栗林(内科)・田中(外科)・成田(皮膚科)・柴田(眼科)会長、川越(東洋)会長代行、平川(整形外科)理事

(分科会長・世話人)

布井(小児科分科会)・鮫島(産科婦人科分科会)・大森(東洋医学分科会)会長、棚田(ゴルフ)・宮永(テニス)・比嘉(サッカー)・田代(走ろう会)・後藤(囲碁)世話人

(県医) 稲倉会長、河野・富田副会長、立元・

佐藤・吉田・大塚・古賀・濱田・石川・松本常任理事、高橋・上田・済陽・金丸・長倉・矢野・直井・峰松理事



## 九州医師会連合会第 32 回常任委員会

と き 平成 23 年 9 月 17 日(土)

ところ ホテルニューオータニ佐賀

## 1. 開 会

同利用施設の在り方について」

## 2. 挨 拶

(野田健一代議員・福岡)

九州医師会連合会池田秀夫会長

## 2) 九州ブロック日医代議員連絡会議の開催

(佐賀県医師会長)

(10月 23日(日))について(佐賀)

## 3. 報 告

日時 平成 23 年 10 月 23 日(日) 9 00~

## 1) 第 11 回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加状況について(佐賀)

場所 日本医師会館

5 階九州ブロック控室

申し込み締め切りを 8 月末としていたが、記念行事の申し込みが少ないため、卓球を除いて 9 月末まで(テニスは 10 月 10 日まで)としたので再度、参加の呼びかけをお願いしたい。

## 3) 第 32 回常任委員会並びに第 10 回臨時委員総会の開催(11 月 18 日(金)佐賀市)について(佐賀)

平成 23 年 11 月 18 日(金)、ホテルニューオータニ佐賀にて開催。

## 2) 集中豪雨被災見舞いの御礼について(佐賀)

・第 32 回常任委員会 16 00~ 16 50

先般、行った福島県医師会と新潟県医師会への被災お見舞いに対する両県医師会長からのお礼状の報告。

・第 10 回臨時委員総会 17 00~ 17 50

・合同懇親会 18 00~ 20 00

## 4. 協 議

## 1) 日医代議員会(10月 23日(日))における代表・個人質問について

## 4) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月 19日(土)佐賀市)について(佐賀)

協議の結果、次のとおり代表質問 1 名、個人質問 2 名が決定された。

平成 23 年 11 月 19 日(土) 10 00~ 12 00, ホテルニューオータニ佐賀にて開催。

## 代表質問

講演 中央情勢報告・質疑応答

・「もう一度問う！医療・介護報酬同時改定について」

講師 日本医師会長 原中勝征先生

(野田剛稔代議員・長崎)

日医代議員会(10月 23日)の質疑を受けて日医への要望・質問を 10 月 31 日までに各県 1 題程度を目安に照会予定。

## 個人質問

・「在宅医療をかかりつけ医でしっかりと実施できる体制づくりを」

## 5) 第 11 回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)について

(八木幸夫代議員・鹿児島)

長崎県からの加筆修正を除き、意見がなかったことから佐賀県医師会の原案に長崎県の加筆修正を加えることで承認された。

・「新公益法人制度下における医師会立共

6) 第323回常任委員会並びに第2回各種協議会の開催(1月28日(土)佐賀市)について

平成24年1月28日(土)16:00~18:40, ホテルニューオータニ佐賀にて開催。

7) 日本医師・従業員国民年金基金第9期代議員候補者の九州ブロックからの推薦について(佐賀)

現代議員の任期が平成24年3月31日で満了となることから、次期代議員(任期2年)について、これまで就任実績のない佐賀県医師会と宮崎県医師会から候補者を推薦することとされた(10月10日までに適任者がいない場合は加入者の多い医師会に個別にお願いする)。

8) 台風12号による被災へのお見舞いについて(佐賀)

今回の台風12号災害について和歌山県、奈良県、三重県の三医師会に各県5万円、九医連から20万円を拠出し各県に20万円の見舞金を支出することが承認された。

5. その他

1) 日本プライマリ・ケア連合学会への県医師会の関与について(鹿児島)

各県の現況について意見交換した。

6. 閉 会

出席者 - 稲倉会長, 大重事務局長

## 10月のベストセラー

1	スティーブ・ジョブズ	ウォルター・アイザックソン	講談社
2	百歳	柴田トヨ	飛鳥新社
3	暴力団	溝口敦	新潮社
4	2012年大恐慌に沈む世界 甦る日本	三橋貴明	徳間書店
5	トレンドよりも、似合うが最強! 大草直子の“考えるおしゃれ”	大草直子	講談社
6	謎解きはディナーのあとで	東川篤哉	小学館
7	知れば知るほど面白い 古代韓国の歴史と英雄	康熙奉	実業之日本社
8	Dr.クロワッサン白澤卓二さんが提案する 100歳までボケない101のレシピ	白澤卓二	マガジンハウス
9	きょう一日。 非常時を生き抜く究極の五木メソッド55	五木寛之	徳間書店
10	決断できない日本	ケビン・メア	文藝春秋

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077

## 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会

と き 平成 23年 9月 23日(金・祝)

ところ ホテルセンチュリー静岡

平成 23年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、静岡県医師会の担当で開催された。

協議会長挨拶(静岡県鈴木勝彦会長)

民主党に政権が移って2年余りとなるが、医療政策がマニフェストどおり実行されていないのはご承知の通りである。社会保障・税一体改革については、総論では賛成するところもあるが、公的給付範囲の縮小を求めたと思われる記述や保険免責制の導入に繋がる記述、医療における営利産業の参入を解禁と思われる記述が見られ、国民皆保険制度の将来が不安になるところだ。また、社会保障・税に関わる共通番号制度については個人の医療や健康に関わる情報の機微性の視点から、医療分野等の個別法が成立するまで社会保障分野に導入すべきでないと考えている。

厳しい問題の山積する医療界であるが、当協議会はこれからの日本の医療に寄与する人材を一人でも多く送り出していくべきである。平成 20年度診療報酬改定において新設された医師事務作業補助体制加算について、平成 22年度改定で一部要件が緩和されてはきたが、さらなる要件緩和を目指し、日本医師会と連携しながら日医認定医療秘書の養成に取り組んでいきたい。

来賓祝辞(日医羽生田俊副会長)

社会保障・税一体改革案が閣議報告された。社会保障の強化に向けて医療介護に相当の支援、マンパワーを導入するという方向性を打ち出し

ていることはある程度評価するが、受診時定額負担や個人負担割合の見直しが盛り込まれている点は大きな問題である。地域の実情に応じた医療介護サービスの提供体制の効率化・重点化と機能強化が謳われているが、救急医療から急性期・回復期・慢性期・在宅医療まで切れ目ないサービス提供体制が必要である。受診時定額負担反対のための国民医療推進協議会の決起大会を12月初旬に予定しており、推進協議会参加団体の総会を本日、日医会館で開催している。近く決起大会に向けてご報告とお願いをすることになると思う。また診療報酬・介護報酬の同時改定、事業税・消費税の問題、医療法改正など多くの課題に対して、国民医療を守る立場から日医としての確に対応していく所存だ。

現在、日医医療秘書試験合格者は約 11,000人、認定証取得者は約 8,000人に達している。今後も全国医師会医療秘書学院連絡協議会とともに、医療秘書が医療機関において即戦力として役割を果たすよう、さらなる資質の向上に向けて努力していきたい。

報 告

1. 平成 22年度会務報告について
2. 常任委員会について
3. 日本医師会医療秘書認定試験委員会について
4. 日本医師会認定医療秘書のあり方に関する検討委員会(プロジェクト)について  
検討委員会の師委員長より、日医原中会長

の諮問を受けた医療秘書養成の要綱(コアカリキュラム)と教科書の改訂について進展状況が以下の通り報告された。

社会の認識が強まり、医療秘書のニーズは高まってきている。日医認定医療秘書が即戦力になるには、事務職員として診断書等の書類作成や電子カルテに対応できる力も必要となってくる。

平成20年2月に日医医事法関係検討委員会が出した答申の中で「診療録の作成作業などについては、補助者による作業を許容する施策を積極的に進めていくべきであり、これに必要な人材の育成・確保に際しては、例えば日本医師会認定医療秘書等を活用することなどが考えられる」と述べられている。また、平成20年度診療報酬改定において医師事務作業補助体制加算が点数化されたことで、だんだん位置付けがはっきりしてきた。

日医医療秘書養成方法を改訂するため昨年設置された検討委員会は2年目に入った。まだ具体的に発表できる段階ではないが、コアカリキュラムや単位数、総時間数の改訂案ができあがった。改訂案の現場での運用についてある養成機関に尋ねてみたところ、従来のカリキュラムよりも養成機関の負担は多少軽くなるという返答を得た。

先日行った日医認定医療秘書に関するアンケートの回答の中には、医療用語は大切だが教え始めるときりがなく、基礎教科、解剖生理をきちんと教えたい一方で、現場で用語に慣れる必要があるのではないかという意見や、医療用語辞典を作って活用してはどうかという提案もあった。医療事務総論で接遇を充分評価してほしいという声もある。コミュニケーション能力低下への対応としては、演習を含んだコミュニケーション論を改訂案に盛り込もうと考えている。基礎教科については、医

学の基礎と臨床を分けずに臨床の流れという形で教えたらどうかという意見があった。医療保険事務は規定された時間内で教えるのは難しく、病院と診療所では要求されるレベルが違うのでどの程度まで教えたらいいのかという問題がある。医療保険事務そのものは実技で評価し、各学院で力を養ってほしい。その他、各教科間で内容が重複しているという指摘があった。

教科書編纂にあたっては、ゆとり教育世代は医学の基本的な知識が落ちていることも考慮して作業を進めていかねばならない。アンケート結果も反映させ、あと2回の委員会で完成させたい。

#### 5. 各学院の現況調査結果について

調査結果に基づいて、各学院の担当者より現況が報告された。宮崎県からの報告は以下の通り。

##### 1) 宮崎学園短期大学

昨年度までは「医療秘書コース」として募集していたが、医療秘書の概念が分かりにくいと同時に学生の就職に対するニーズに応えられるのかという大きな課題があり、今年から「医療事務医療秘書コース」とした。試験については100%近い合格者を出している。就職については学校としても努力しており、医師会とも協力しながら決定していきたい。教科書の内容が難しいが、改訂を検討中ということで期待している。また、認定証の取得には秘書技能科目及び具体的検定種目一覧の5種目の中から3教科の資格を取っていなければならないが、資格を持たずに入学してくる学生もいることを考慮していただきたい。

##### 2) 都城コアカレッジ

実習を1年次と2年次の2回行うことにより本人達の自覚が芽生えてくるのを確信

しており、これからも続けていきたい。現在のところ内定者はいない。就職のお願いのため市内の医療機関を回っているが、地方ということもあり、定期採用は厳しく人員補充という形が多い。インターンシップを利用して11月の半ばから医療機関に勤めながら学校を続けるという制度を取っている。県医師会の協力のおかげもあり、今年度の卒業生において医療秘書での就職を得ることができた。医療秘書としての採用は厳しく、現状では医療事務としての就職が多い。医療秘書としての就職口を増やせるよう努力していきたい。

宮崎医療管理専門学校は不参加のため報告を割愛。

6. 医療保険請求事務実技試験委員会について
7. その他

先般行われた日本医師会認定医療秘書養成に関するアンケートの結果について、日医藤川常任理事から以下の通り報告があった。

現在日本医師会認定医療秘書養成を行っていない38都道府県医師会(来年度から養成予定の滋賀県を除く)へ9月1日付でアンケートを送付した。「日医医療秘書についてもっと詳しい資料を希望するか」、「養成について日医または認定医療秘書関係者から実情を聞いてみたいと思うか」を尋ね、医療秘書の養成について今後前向きに対応していただけるかどうか調査した。結果は「詳しい資料が欲しい」が8道県(北海道・秋田・岡山・山口・福岡・長崎・大分・沖縄)、「話を聞くことを希望する」が6道県(北海道・秋田・山口・福岡・長崎・大分)で、両方を希望しているところは相当前向きに考えておられるのではないかと楽しみにしている。今後は資料を送ったうえで、話を聞いてみたいという医師会には直接出向いて積極的に説明をしたいと思っている。隣県

の先生方から医療秘書関係者へ問い合わせがあった場合は、できるだけ養成に前向きになってもらえるようなご協力をお願いしたい。

協 議

1. 平成 22年度収支決算について(会計監査報告)
2. 平成 23年度事業計画(案)について
3. 平成 23年度収支予算(案)について
4. 次期当番県の決定について

1～4について協議が行われ、提案通り承認された。次期当番県は愛知県に決定した。定例総会は平成 24年 9月 29日(土)に名古屋東急ホテルにて開催予定。

総 括(日医藤川謙二常任理事)

本日の意見・要望を踏まえて日医医療秘書のあり方について委員会で今年度中に取りまとめたい。医療秘書養成の全国的な拡大については、昨年度もオブザーバーとして参加していただいた滋賀県が来年度から養成開始予定とのことで大変嬉しく思っている。本日まで出席いただいた福岡県医師会にも期待している。

野田新内閣が誕生したが、厳しい医政活動の中、会長以下執行部では同時改定だけではなく様々な問題について新たに決まった厚労関係の政治家や官僚と交渉していくことになる。それに加えて10～12月とチーム医療の推進委員会が動き出す、いわゆる特定看護師(仮称)については看護大学で国のモデル事業が行われているものの、必要がなければ廃止するべきである。日医としては、特定看護師は不要とのスタンスである。

医療秘書については全国に拡大できる希望を持っている。日医としても、常任理事の出身都道府県をお願いしたり、以前養成していた県に働きかけたりして普及拡大に努力していきたい。

出席者 - 富田副会長、長倉理事、杉田課長、  
喜入主事

## 薬事情報センターだより (294)

## 新薬紹介(その51)

今回は8月に発売されたウイルスワクチン類ガーダシル水性懸濁筋注・水性懸濁筋注シリンジ(一般名 組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来))と9月に薬価収載された選択的 $\beta$ 3アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤ベタニス錠25mg・50mg(一般名ミラベグロン)について紹介いたします。

ガーダシル水性懸濁筋注・水性懸濁筋注シリンジ(一般名 組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来))

ガーダシルは、ヒトパピローマウイルス(HPV)6, 11, 16及び18型のL1たん白質のウイルス様粒子を含む酵母細胞由来の遺伝子組換え型4価ワクチンです。アジュバントとしてアルミニウムヒドロキシホスフェイト硫酸塩を含んでいます。

効能・効果は「ヒトパピローマウイルス6, 11, 16及び18型の感染に起因する以下の疾患の予防・子宮頸癌(扁平上皮細胞癌及び腺癌)及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍(CIN)1, 2及び3並びに上皮内腺癌(AIS))・外陰上皮内腫瘍(VIN)1, 2及び3並びに膺上皮内腫瘍(VaIN)1, 2及び3・尖圭コンジローマ」です。これまで日本国内で使用されてきたHPV16及び18型のL1たん白質ウイルス様粒子を含む2価のHPVワクチンとは一部異なります。接種対象者は9歳以上の女性であり、合計3回、筋肉内に注射します。

本剤は2006年に米国で承認されて以来、世界120以上の国と地域で承認されています(2011年6月現在)。本邦では、2011年7月に承認され、8月に発売されました。

国内臨床試験において、本剤接種後5日間に注射部位にて特定された症状の副反応は、562例中479例(85.2%)に認められました。主なものは疼痛465例(82.7%)、紅斑180例(32.0%)、腫脹159例(28.3%)等でした。また、本剤接種後15日間に、全身性の副反応は562例中75例(13.3%)に認められました。主なものは発熱32例(5.7%)、頭痛21例(3.7%)でした。

ベタニス錠25mg・50mg(一般名 ミラベグロン)

ミラベグロンは、アステラス製薬株式会社において創製された選択的 $\beta$ 3アドレナリン受容体作動薬です。膀胱の $\beta$ 3アドレナリン受容体に結合して、蓄尿期のノルアドレナリンによる膀胱の弛緩作用を増強し、膀胱容量を増大させることにより、膀胱は正常な蓄尿期の状態に近づき、過活動膀胱を改善します。既存薬とは異なる作用機序を有する新規過活動膀胱治療薬です。

本剤は、本邦において、2011年7月に世界で初めて承認された選択的 $\beta$ 3アドレナリン受容体作動薬です。効能・効果は「過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁」で、9月に発売されました。

国内で過活動膀胱患者を対象に安全性を評価した総症例数1,207例中、臨床検査値異常を含む副作用発現症例は313例(25.9%)で、主なものは $\gamma$ -GTP上昇45例(3.7%)、便秘35例(2.9%)、CK(CPK)上昇31例(2.6%)、ALP上昇30例(2.5%)等でした(承認時)。

なお、動物実験(ラット)において、生殖器系への影響が認められました。本剤の性ホルモンに対する作用について検討したデータがなく、ラット生殖器系への影響の発現機序が不明であることから、生殖可能な年齢の患者さんへの投与はできる限り避けることとされています。

## 参考資料

ガーダシル水性懸濁筋注・水性懸濁筋注シリンジ、ベタニス錠25mg・50mg  
各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 日医 FAX ニュースから

### 不活化ワクチン導入は、12年度末 厚労省

生ポリオワクチンから不活化ポリオワクチンへの移行に向けて準備を進めている厚生労働省は10月4日、不活化ポリオワクチンの導入時期について早くても2021年度末を予定していると発表した。

導入までの間、生ポリオワクチンの接種を合わせる人が増加すれば、国内でポリオの流行が起きる危険性があり、厚労省は今秋の接種シーズンでのポリオワクチン接種を呼び掛けている。

12年度末に導入予定のワクチンは、ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオの4種混合ワクチン(DTP-IPV)で、開発企業は1年未満頃から順次、薬事承認申請を予定している。

不活化ポリオワクチン導入後の接種方法や生ポリオワクチンの取り扱いについては「不活化ポリオワクチンへの円滑な移行に関する検討会」で議論を進めている。(平成23年10月7日)

### 受診時定額負担反対で署名活動へ 国民医療推進協

医療関係の4団体でつくる国民医療推進協議会は受診時定額負担の導入に反対する署名活動を始める。10月12日の日医の定例会見で、羽生田俊日医副会長が発表した。原中勝征会長(日医会長)名で都道府県医師会などに趣意書を送付した。来月末まで署名を集める。羽生田副会長は署名を集めた上で「国会への請願という形を取っていきたい」と述べた。

趣意書では、受診時定額負担の収入を高額療養費制度の負担軽減に充てることに対して「別の病気で治療中の患者に負担を求める考え方は理屈が通らない」と指摘。負担軽減の財源は保険料や税金などに求めるべきとした。定額負担を100円とすることは「いずれ、50円、1,000円になっていくおそれがある」とし、受診抑制につながる

とした。受診時定額負担の導入で、所得によって受けられる医療に格差が生じるとし、国民皆保険の崩壊につながると主張した。

羽生田副会長は「給付の割合については、将来にわたり100分の70を維持する」とした健康保険法付則を挙げ、「どう議論を尽くしても100分の70を切る。反対していく」と述べた。

(平成23年10月14日)

### 定額負担による財源は1年だけ 鈴木常任理事

鈴木邦彦常任理事は10月13日、日医主催の記者懇話会で、受診時定額負担導入への反対をあらためて表明した。12日に開かれた厚生労働省の社会保障審議会・医療保険部会の資料を示し「受診時定額負担を導入しても財源は1年しか持たず、2年目以降の財源のめどが立たない。高額療養費の問題はじっくりと考えるべき」と主張した。

鈴木常任理事は高額療養費を見直す必要性は認めた上で「負担をどうするか知恵を出し合っていかなければいけない問題」とし、公費や保険料などで対策を考えるべきとした。

受診時定額負担が導入されれば、高額療養費の財源だけでなく、他の財源として導入される可能性があるとも指摘。「風穴を開けることになる」と警戒感を示した。大病院での初診時に患者から負担を求める代替案には「日医は全ての医師を代表する団体。考え方そのものに反対している」と述べ、容認できないとした。

(平成23年10月18日)

### ポジティブリスト方式は踏襲

#### 厚労省の検討会

厚生労働省医政局長が設置した「医療情報の提供のあり方等に関する検討会」(座長=長谷川敏彦・日本医科大医療管理学教室主任教授)が10月19日、3年ぶりに再開した。原則禁止となっている医療広告については、広告できる事項を規定する現行の「ポジティブリスト方式(包括規定

方式)を踏襲した上で、プロセス評価やアウトカム評価など広告可能な範囲拡大について検討することを大筋で了承した。

医療広告については社会保障審議会・医療部会や同検討会で、広告が不適当な事項を規定しそれ以外は広告可能とする「ネガティブリスト方式」の特性について議論はされているものの、医療法が制定された1948年以来、ポジティブリスト方式による規制が行われてきた。

これに対し行政刷新会議の規制・制度改革ライフィノベーションワーキンググループは2010年12月、医療機関のホームページは広告規制を受けていないと指摘した上で「ポジティブリスト方式を改め、医療機関の広告規制を原則自由化する」との改革案を示していた。

事務局の医政局総務課は会合で「広告として不適切な事項は無数に想定されるため、ネガティブリスト方式は技術的に不可能ではないがネガティブリスト方式は事後的な規制となり、患者・国民に多大なリスクを転嫁するものになる」として、現行方式を維持したい考えをにじませた。

出席構成員からも、医療機関の非営利性・公益性を基に形成された地域密着型医療の崩壊につながる懸念から「規制を外すのは時期尚早だ」「一般の広告とは性格が違う」などの意見が出た。

ホームページは広告では？

医療法では医療利用者を保護する観点から、ポジティブリストによって医療機関の広告を規制する一方で、ホームページについては「利用者が自ら検索して閲覧する情報提供・広報」との位置付けから規制の対象外としてきた。この日の会合では「病院のホームページでの情報提供は、社会規範に照らせば広告に当たるのではないか」といった意見も目立った。

会合では、美容医療サービスでの高額な施術契約で消費者トラブルが増加傾向にあることを受け、ホームページでの情報提供の在り方についても議論した。

この問題について長谷川座長は、自由診療の

美容医療での例外的な事例であるとの見方を重視し、ホームページ上の虚偽・誇大な表示については不当景品類及び不当表示防止法や不正競争防止法など従来の法体系の中で対応すべきと意見をまとめた。(平成23年10月21日)

## 定額負担・TPPには断固反対

日医代議員会

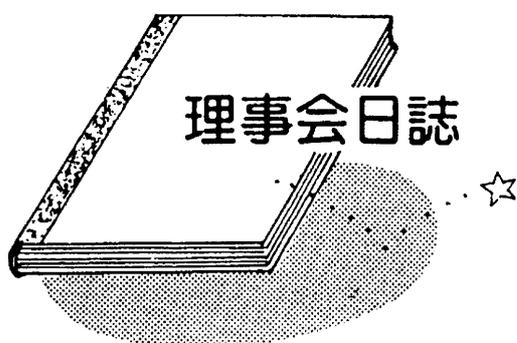
日医の臨時代議員会は10月23日、日医会館で開かれ、受診時定額負担の導入やTPPへの参加など国民皆保険を脅かしかねない政策に危機感を示す意見が相次いだ。原中勝征会長ら執行部は国民皆保険堅持に向けて断固として反対する意向を示した。

国民皆保険制度の意義を再確認すべきとした近藤太郎代議員(東京)の質問に、原中会長は「この制度が50年後にどうなっているかという視点で方策を提案していく必要がある」と述べた。受診時定額負担は「国民皆保険は国民全体の連帯で営むもの。老人や経済的な不安がある人からさらに徴収することは反対」とし、署名活動などの反対運動を「強烈に行うつもりだ」と述べた。

TPPについては挨拶で「このまま参加すれば国民皆保険が崩れていこう」とした。TPPには強い姿勢で反対すべきとした松原謙二代議員(大阪)の質問に対しては「参加するなら(政府は)譲れない点を示すべき」と述べたが、「そもそも医療保険が含まれなければ米国に魅力がないはず」とし根本的に反対するとした。総合特区による規制緩和の動きについてただした高井康之代議員(大阪)の質問では「国民医療を守るために小さな穴も防ぐ」とした。

改定に向け 財務省に3項目を要請

原中会長はまた、挨拶で9月27日に財務省の担当者が同時改定の意向を聞くため日医を訪れたことを明らかにし「これは今までにないこと。大変な進歩」と述べた。医療費の自然増を容認する ネットでプラス改定とする 入院・外来の配分をあらかじめ決めない の3項目を要望したと説明した。(平成23年10月25日)



平成 23年 9月 6日(火) 第 13回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について
 

10/15(土) JA A Z M 大ホール)日本褥瘡学会・在宅褥瘡医療ネットワーク委員会宮崎県セミナーの後援依頼について  
名義後援を行うことが承認された。

11/5(土) 県総合保健センター)「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」後援名義使用について  
名義後援を行うことが承認された。
2. 11/2(土) 福岡)平成 23年度九州学校検診協議会第 2 回専門委員会等の開催について  
佐藤常任理事, 高村一志先生, 宮田純一先生, 澤田浩武先生の出席が承認された。
3. 12/8(木) 日医)平成 23年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について  
濱田常任理事が出席することが承認された。
4. 11/6(日) 西都)平成 23年度宮崎県高等学校総合体育大会男子第 64回・女子第 26回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について  
開催地の西都市・西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。
5. 11/20(日) 西都)平成 23年度宮崎県中学校駅伝

競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

開催地の西都市・西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。

(報告事項)

1. 8 月末日現在の会員数について
2. 8 /3(火) 県庁)県立病院事業評価委員会について
3. 8 /3(火) 宮崎労働局)労災診療指導委員会について
4. 9 /2(金) 日医)日医地域医療対策委員会について
5. 8 /3(火) 県庁)県准看護師試験委員会について
6. 9 /1(木) JA A Z M 本館)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
7. 9 /3(土) 県医)県医医学会について
8. 9 /6(火) 県医)治験審査委員会について
9. その他  
公益法人化準備委員会について

平成 23年 9月 13日(火) 第 8 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
国立大学法人宮崎大学経営協議会委員の就任について  
稲倉会長が引き続き委員に就任することが承認された。  
看護師等の「雇用の質」の向上のための取組に関する企画委員会の委員の推薦について  
委員として長倉理事を推薦することが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
11/12(土) 宮崎産業経営大学)平成 23年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会研究大会の名義後援について

名義後援を行うことが承認された。

### 3. 業務委託について

訪問救急教室事業の委託契約について

委託契約を締結することが承認された。

(報告事項)

#### 1. 週間報告について

#### 2. 9/7(水) 支払基金) 支払基金幹事会について

#### 3. 9/8(木) 日医) 日医医療情報システム協議会 運営委員会について

#### 4. 9/7(水) 岡田) 顧問弁護士との懇談会について

#### 5. 9/12(月) 県医) 宮大医学部救急部との打合せ について

#### 6. 9/10(土) 県医) 日医生涯教育セミナー「地域 医療と予防接種～ワクチンがもたらす恩恵～」 について

#### 7. 9/10(土) 県医) 産業医研修会について

#### 8. その他

公益法人化準備委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

#### 1. 10/16(日) 宮崎中央公園) EPP 交渉参加断固阻 止みやざき県民集会にかかる事前協議の開 催について

9/21(水)に開催される事前協議は事務局対応となり、10/16(日)に開催される県民集会についても諸会議と重なっているため事務局で対応することが承認された。

平成 23 年 9 月 20 日(火) 第 14 回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

#### 1. 日本医師・従業員国民年金基金第 9 期代 議員候補者の九州ブロックからの推薦につ いて

9/14(土)に開催された九医連常任委員会で、本県から代議員候補者を推薦することが決定したとの報告があった。また、候補

者については、加入者の中から、条件等を  
勘案しながら人選することが提案され承認  
された。

#### 2. 本会外の役員等の推薦について

HTLV-(ヒトT細胞白血病ウイルス 型)  
母子感染対策協議会委員の推薦及び就任  
について

県医師会並びに県産婦人科医会として  
濱田常任理事、県小児科医会として佐藤  
常任理事を推薦することが承認された。

#### 3. 後援・共催名義等使用許可について

10/15(土) JA A Z M ホール 第 15 回認知症か  
かりつけ医研修会共催のお願い

共催することが承認された。

#### 4. 平成 23 年度広域インフルエンザワクチン接 種事業の接種料について

市町村によって希望金額にばらつきがあ  
ることから、各郡市医師会の意向を確認し  
た上で対応することが承認された。

#### 5. 「医療事故調査に関する検討委員会」答申に 関するアンケート調査のお願い

できるだけ本県全体の意見を反映できる  
よう各郡市医師会のアンケート結果を踏ま  
えた上で検討することが提案され承認さ  
れた。

#### 6. 平成 23 年度緩和ケア研修事業に係る業務の 委託契約について

契約を締結することが承認された。

(報告事項)

#### 1. 9/17(土) 佐賀) 九医連常任委員会について

#### 2. 9/16(金) 宮崎) 社会保険医療担当者の特定共 同指導について

#### 3. 9/17(土) 佐賀) 九医連各種協議会について

#### 4. 9/14(水) 県医) 日医乳幼児保健検討委員会に ついて

#### 5. 「宮崎県医師会勤務医住宅ローン」のご融資 利率改定について

#### 6. 9/15(木) 日医) 日医広報委員会について

#### 7. 9/16(金) 県医) 広報委員会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

## 1. 「みやざき新生の会」入会について

河野俊嗣知事の後援会が立ち上げた政治団体。個人での協力となるため、役員で主旨に賛同する方は入会をお願いすることとなった。

## (報告事項)

1. 9/1社(佐賀)九州医連常任執行委員会について
2. 9/14校(宮観ホテル)三師会懇談会について

平成 23年 9月 27日(火) 第 15回常任理事会

## 医師会関係

## (協議事項)

## 1. 本会外の役員等の推薦について

「宮崎県歯科保健推進協議会」における委員の推薦及び「宮崎県 8020運動推進協議会設置要綱」の廃止について

荒木常任理事を推薦することが承認された。

## 2. 後援・共催名義等使用許可について

11/5(土)・6(日)山口県歯科医師会館 第 4 回九州山口口腔ケアシンポジウム in YAMAGUCHIへご支援のお願い

名義後援を行うことが承認された。

11/8(火)宮崎市民文化ホール 第 5回宮崎県精神保健福祉大会の後援について

名義後援を行うことが承認された。

## 3. 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月 19日)における日本医師会への質問・要望事項について

会長一任となり、理事者で提案事項がある場合は申し出ることとなった。

## 4. 平成 23年度公衆衛生事業功労者(日本公衆衛生協会会長)の表彰について

慎重に検討した結果、4名を推薦するこ

とが承認された。

## 5. 県医師会館に係る火災保険・地震保険等について

東日本大震災の影響で地震危険補償特約保険料が高くなることから、更新時期に合わせ内容の検討が行われた。その結果、本会館は免震構造を採用していることもあり、引き続き支払限度額方式 15%で地震危険補償特約を付帯することが承認された。

## 6. 平成 23年度救急医療施設医師研修事業に関する業務の委託契約について

契約を締結することが承認された。

## 7. 12/4(日)鹿児島県医師会館 女性医師支援センター事業九州ブロック会議について

荒木常任理事が出席することが承認された。

## 8. 10・11月の行事予定について

10月の追加行事と11月の諸行事について確認が行われた。

## (報告事項)

1. 9/27校(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
2. 9/23校(日医)A 学術シンポジウムについて
3. 9/26校(県医)介護保険委員会について
4. 9/26校(県医)広報委員会について
5. その他

人事等管理委員会について

## 医師協同組合・エムエムエスシー関係

## (協議事項)

## 1. 組合員加入承認について

1名の組合員加入が承認された。

## (報告事項)

## 1. 医協運営委員会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

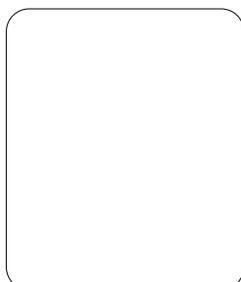
1. 「英仁会」への加入ご協賛について
2. 10/4(火)西島英利前参議院議員の来会について

## 県 医 の 動 き

( 10月 )

1	<p>県警察医会総会(大塚常任理事)</p> <p>県産婦人科医会秋期定時総会・市民公開講座 (濱田常任理事)</p> <p>九州首市医師会連絡協議会懇親会(会長)</p>	15	<p>生活習慣病検診従事者研修会(古賀常任理事)</p> <p>日本臨床内科医会九州ブロック会議(佐賀)</p> <p>園医部会総会・研修会(富田副会長他)</p> <p>九州各県内科医会連絡協議会(佐賀)</p> <p>九州医師協同組合連合会通常総会(福岡) (会長他)</p>
2	<p>県立宮崎病院開設90周年記念式典(会長)</p>	16	<p>九州医師協同組合連合会(福岡)</p> <p>九州各県内科審査委員懇話会(佐賀)</p> <p>TPP交渉参加断固阻止みやざき県民集会 (事務局)</p>
4	<p>治験審査委員会(富田副会長他)</p> <p>第16回常任理事会(会長他)</p>	18	<p>県個人情報保護審議会(濱田常任理事)</p> <p>医協打合会(立元常任理事)</p> <p>第18回常任理事会(会長他)</p>
5	<p>奥様医業経営塾(医協事務局)</p> <p>産業医研修会</p> <p>県産婦人科医会学術委員会(濱田常任理事)</p>	19	<p>全体課長会(事務局)</p> <p>奥様医業経営塾(医協事務局)</p> <p>みやざき愛の献血運動推進県民大会(会長)</p> <p>宮崎市郡医師会例会・しのめ医学会・特別講演会(会長)</p>
6	<p>産業保健活動推進全国会議(日医) (大塚常任理事)</p> <p>医療安全対策セミナー(会長他)</p> <p>全国医療法人経営セミナー実行委員会</p>	20	<p>県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(石川常任理事他)</p>
7	<p>全国医師国保組合連合会全体協議会(京都) (秦理事長他)</p> <p>産業医研修会</p> <p>県内科医会学術委員会</p> <p>公益法人化検討委員会(会長他)</p>	21	<p>産業医研修会</p> <p>全国医療法人経営セミナー前夜祭(会長他)</p>
8	<p>ICLS研修会</p> <p>産業医研修会(矢野理事)</p> <p>日医連医政活動研究会(佐賀) (吉田常任理事他)</p>	22	<p>全国医療法人経営セミナー(大塚常任理事他)</p> <p>県整形外科医会研修会</p>
9	<p>ACLS研修会</p> <p>全国医師協同組合連合会広報部会(東京) (立元常任理事)</p>	22 } 23	<p>日産婦医会九州ブロック協議会(濱田常任理事)</p>
10	<p>(体育の日)</p> <p>県アイバンク協会設立30周年記念大会(会長他)</p>	23	<p>九州ブロック日医代議員連絡会議(日医) (会長他)</p> <p>日医臨時代議員会(日医) (会長他)</p>
11	<p>第17回常任理事会(会長他)</p>	24	<p>地域医療支援機構設立総会(会長)</p> <p>広報委員会(荒木常任理事他)</p>
12	<p>支払基金幹事会(会長)</p> <p>産業医研修会</p> <p>日産婦医会九州ブロック協議会実行委員会 (濱田常任理事)</p>	25	<p>医協運営委員会(会長他)</p> <p>第9回全理事会(会長他)</p>
13	<p>県犯罪被害者等支援連絡協議会総会(会長)</p> <p>女性医師委員会(荒木常任理事)</p> <p>県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)</p>	26	<p>労災診療指導委員会(河野副会長他)</p>
13 } 14	<p>日医社会保険指導者講習会(日医) (上田理事)</p>	27	<p>社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事)</p> <p>産業医研修会</p>
14	<p>奥様医業経営塾卒業生向けフォローアップセミナー(医協事務局)</p> <p>地域エコチル調査運営協議会(佐藤常任理事他)</p> <p>広報委員会(富田副会長他)</p>	28	<p>日医医療秘書認定試験委員会(日医) (富田副会長)</p> <p>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長)</p> <p>高次脳機能障がい講演会(会長他)</p>
		29	<p>全国学校保健・学校医大会(静岡) (会長他)</p> <p>全国医師会勤務医部会連絡協議会(富山) (荒木常任理事他)</p> <p>県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会(古賀常任理事)</p>
		31	<p>県産業保健連絡協議会等(会長他)</p>

## 私 の 本



宮崎市 大西医院  
おおにしゆうじ  
大西雄二

# 薔薇の時代

## 昭和初期・若き芸術家たち

発行所 鉦 脈 社  
定 価 1,500円(税込)

青春時代がとうに過ぎてから、当時影響を受けた作家や詩人について検証するようになった。

昭和初年から太平洋戦争開戦前にかけて、現在より遥かに遠かった東京に、偶然にも宮崎県出身者が集い、文学に身も心も捧げ、戦争に至る暗い時代を生き抜いた。

登場するのは塩月桃甫（画家）、息子の昶（文芸評論）、中村地平（作家）、神戸雄一（詩人）、渡辺修三（詩人）、高森文夫（詩人）の6人である。

太宰治と中原中也の作品は、青年の心を捉えて永遠に読み続けられるであろう。光芒を放つ2人の天才が発する精気を抱擁的に受けとめてその才能の開花を助けた宮崎出身の友人たち。

昶の父桃甫は画家としての充実期を台湾で過ごし、台湾美術展覧会を創設し、優れた作品を発表し続けた。引き揚げ後、台湾に残した作品はすべて失われた。近代日本の伸張と破綻を、植民地で身をもって経験した悲劇の画家である。

芸術家は時代の潮流と闘いながら、作品を生み出す。自己と時代に課した問題を考え、芸術家の運命を考えたい。時代を縦糸に人物を横糸に織る形の著述とした。年代は昭和初年代から戦中戦後にかけての約40年間である。

天才たちとの邂逅と相克、芸術家の悲運、血の繋がり、中央と地方と外地、それぞれの差異などなど幾重にも問題が重なりあっている。彼らの生き方を時代の中で位置づけることで、私自身の生き方を考え直したかった。

薔薇の時代のタイトルは、昶の著作『薔薇の世紀』と忌日の「薔薇忌」に由来する。破滅への序曲とでもいう時代であったが、昭和文学の転換期に芸術に取り組んだその歳月は「薔薇の時代」ではなかったか。

取り上げた人たちは父と同じ世代である。そのため親しく年月の流れを実感することができる。私は好きなようにさせてもらった。感謝と心配をかけた贖罪の気持ちがある。

表紙の写真は楠元正輝先生の作品である。表紙を飾ることによって執筆が勇気づけられた。

純粋な文芸評論であるが、私にとっては書かなければいけないテーマであった。

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 23 年 10 月 15 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しております。ご覧ください。

1 . 求職者登録数 7 人

1 ) 男性医師求職登録数 7 人 ( 人 )

希望診療科目	求職数	常勤・非常勤別
内 科	6	常勤( 2 ), 非常勤( 4 )
整 形 外 科	1	常勤( 1 )

2 ) 女性医師求職登録数 0 人

2 . 斡旋成立件数 37 人

1 ) 男性医師 26 人 2 ) 女性医師 11 人

3 . 求人登録 87 件 315 人 ( 人 )

募集診療科目	求人数	常勤・非常勤別
内 科	91	常勤( 66 ), 非常勤( 25 )
外 科	29	常勤( 25 ), 非常勤( 4 )
整 形 外 科	23	常勤( 19 ), 非常勤( 4 )
精 神 科	21	常勤( 17 ), 非常勤( 4 )
循 環 器 科	16	常勤( 16 )
脳 神 経 外 科	15	常勤( 11 ), 非常勤( 4 )
消 化 器 内 科	12	常勤( 12 )
麻 酔 科	11	常勤( 7 ), 非常勤( 4 )
眼 科	10	常勤( 8 ), 非常勤( 2 )
放 射 線 科	9	常勤( 8 ), 非常勤( 1 )
小 児 科	6	常勤( 5 ), 非常勤( 1 )
呼 吸 器 科	5	常勤( 5 )
リハビリテーション科	5	常勤( 3 ), 非常勤( 2 )
血 液 内 科	3	常勤( 3 )
神 経 内 科	5	常勤( 5 )
救 命 救 急 科	3	常勤( 3 )
健 診	3	常勤( 2 ), 非常勤( 1 )
産 婦 人 科	2	常勤( 2 )
泌 尿 器 科	2	常勤( 2 )
検 診	2	非常勤( 2 )
皮 膚 科	3	常勤( 3 )
人 工 透 析	3	常勤( 3 )
耳 鼻 咽 喉 科	1	常勤( 1 )
そ の 他	35	常勤( 33 ), 非常勤( 2 )

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医)わか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	1	非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整,放,麻,内	8	常勤・非常勤
160017	医)プレスピア プレスピアなんば病院	宮崎市	乳腺,内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼,神内,眼,耳,総診,呼外, 循,臨病	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	内,精	3	非常勤
170040	医)いなほ会 日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	内,消内,内,泌糖内,呼,放, リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮崎市	外,内	3	常勤
180061	医)あいクリニック	宮崎市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190089	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳,内,麻	4	常勤・非常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	整,内,外	3	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化,外,総内,麻,放,精,整, 循	13	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,化療,リハ	6	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内,外,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内,リハ	5	常勤・非常勤
220121	医)社団 星井眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
220123	医)仁和会 介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
220125	医)仁和会 竹内病院	宮崎市	外,内	3	常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	内,泌	2	常勤
160010	特医)澈和会 戸嶋病院	都城市	内,老内	2	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,救急,整,脳,外,総合	8	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内,老内,精	3	常勤
170056	医)社団アブラムクラブ ベテスダクリニック	都城市	循内,脳外,呼,神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内,血内,循呼,内,脳, 産婦,小児	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三股町	精,内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医)敬和会 みまた病院	三 股 町	内消内循皮整婦小, 呼放	10	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外内麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 下長飯クリニック	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外整外皮放,肝外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外消内 緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外麻,精神内,脳神経 老施,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内小,外整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外内整透	7	常勤
230130	医)フポール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内放,外小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整内,心内,眼,健診,循脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼循,消内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼麻,脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	2	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内消内,神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神内,整,外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内循呼,血内,健診,放小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外内整	4	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神内,循内,脳外	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 23年 10月 18日現在

1 . 譲渡物件	<p>宮崎市阿波ヶ原町前田 2633番 ,2634番</p> <p>土地のみ : 593.5坪( 2022.17㎡ )</p>
2 . 賃貸物件	<p>宮崎市曾師町 209-3( 診療所跡 )</p> <p>建物 : 鉄筋コンクリート造 2 階建</p> <p>1 階 183.35㎡ ,2 階 166.69㎡</p> <p>駐車場 : 10台分</p>

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoubank@myazakimed.or.jp

あなたできますか？ ( 解答 )

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a , c	a , e	b	e	d	b	b	d	d	b

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成23年10月27日現在

11		月								
1	火	19 00	第19回常任理事会	16	水	9 10	全体課長会(事務局)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="margin-bottom: 5px;">↑</span> <span style="margin-bottom: 5px;">国</span> <span style="margin-bottom: 5px;">保</span> <span style="margin-bottom: 5px;">社</span> <span style="margin-bottom: 5px;">審</span> <span style="margin-bottom: 5px;">査</span> <span style="margin-bottom: 5px;">↓</span> </div>		
2	水	10 30	奥様医業経営塾(医協事務局)			10 30	奥様医業経営塾(医協事務局)			
3	木	(文化の日)		17	木	14 00	子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業連絡協議会			
		9 00	県医親善ゴルフ大会			14 30	(日医)日医病院委員会			
		10 00	「心に残る医療」体験記コンクール第2次審査会			18 30	会計監査(会長他)			
4	金					15 00	(日医)日医ホームページ検討WG			
5	土	15 00	生活習慣病検診従事者研修会	18	金	15 00	社会保険医療担当者(医科)の個別指導			
		16 00	県外科医会秋期講演会			19 00	産業医研修会			
		16 00	全国医師協同組合連合会通常総会			16 00	九医連常任委員会			
						17 00	九医連臨時委員総会			
6	日	7 30	全国医師協同組合連合会通常総会	19	土	10 00	九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会			
7	月	19 00	県内科医会誌編集委員会			13 00	九州医師会総会・医学会			
8	火	14 00	宮大経営協議会・学長選考会議	20	日		九医学分科会・記念行事			
		18 00	治験審査委員会			21	月		16 00	地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議
		18 20	医協打合会						18 30	宮崎銀行との懇談会
		19 00	第20回常任理事会					18 30	第10回全理事会	
9	水	16 00	支払基金幹事会	22	火	19 20	県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会			
		18 30	HTLV-1母子感染対策協議会			23	水	(勤労感謝の日)		
		19 00	糖尿病診療のための地区別小講習会					13 30	ながさき治験医療ネットワーク講演会(事務局)	
10	木	15 00	(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会	24	木	19 00	広報委員会			
		19 30	県産婦人科医会常任理事会			19 00	生活習慣病検診従事者研修会			
11	金	13 00	治験ネットワークフォーラム(事務局)	25	金		県地域医療・福祉推進協議会代表者会議			
		13 30	DV被害者保護支援ネットワーク会議(事務局)			18 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会			
12	土	15 00	社保指導者講習会復講	26	土	14 30	産業医研修会			
		15 30	九州医師協同組合連合会購買・保険部会			15 00	九州学校検診協議会専門委員会			
		17 00	県産婦人科医会学術講演会			17 00	九州各県学校保健担当理事者会			
13	日	10 00	医師国保組合歩こう会	28	月	14 00	県がん診療連携協議会			
		10 00	世界糖尿病デー学術講演会			19 00	医学賞選考委員会			
		14 00	県民健康セミナー			29	火	18 40	医協総代会	
18 30	世界糖尿病デーin宮崎	19 00	県医臨時代議員会							
14	月	19 15	広報委員会			20 00	県医臨時総会			
15	火	16 00	看護師等の「雇用の質」の向上のための取り組みに関する企画委員会	30	水	10 30	奥様医業経営塾(医協事務局)			
		18 15	医協運営委員会			13 00	(日医)都道府県医師会看護問題担当理事連絡協議会			
		19 00	第20回常任理事会			14 00	(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会			
						15 00	労災診療指導委員会			

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 23年 10月 27日現在

12		月			
1	木			9 00 指導医のための教育ワーク ショップ	↑ 国 保 審 ↓
2	金	15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	17 土	13 30 県プライマリ・ケア研究会世話 人会	
3	土	13 00 (日医)家族計画・母体保護法指導者 講習会		14 30 県プライマリ・ケア研究会総会 ・講演会	
4	日				
5	月	19 00 生活習慣病検診従事者研修会	18 日	8 00 指導医のための教育ワーク ショップ	社 査 保 審 ↓
6	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 22回常任理事会	19 月		
7	水	14 00 産業医研修会 16 00 支払基金幹事会	20 火	18 00 医協運営委員会 18 30 第 12回全理事会 19 00 役職員懇談会	↓
8	木	13 30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当 理事連絡協議会			
9	金	14 30 (日医)日本の医療を守るための総決 起大会 18 30 治験セミナー	21 水	9 10 全体課長会(事務局) 15 00 労災診療指導委員会	↓
10	土	県産婦人科医会全理事会	22 木		
11	日		23 金	(天皇誕生日)	
12	月		24 土		
13	火	18 30 産業医研修会 18 30 第 11回全理事会 19 00 九医学準備委員会	25 日		
14	水	九州厚生局並びに県国保援護課合同 指導監査(事務局)	26 月		
15	木		27 火	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会	
16	金	日本の医療を守るための県民集会(仮) 17 30 指導医のための教育ワーク ショップ前日打合せ 19 00 広報委員会	28 水		↑ 国 保 審 査 ↓
			29 木	(年末休業)	
			30 金	(年末休業)	
			31 土	(年末休業)	

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎婦人科セミナー (2単位) (CC 2,8,9,10)	11月1日(火) 19 00~ M R T m icc	子宮内膜症と腹腔鏡下手術について 宮崎善仁会病院副院長 和田 俊朗 子宮内膜症の内分泌療法 横浜市立大学附属病院産婦人科 准教授 榊原 秀也	共催 宮崎市産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434 持田製薬(株)
食後高血糖フォー ラム2011 in 宮崎 (1単位) (CC 76,82)	11月4日(金) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	心血管イベント抑制 - 血糖平坦化を考慮した2型糖尿病の治 療戦略 - 聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科教授 田中 逸	共催 宮崎糖尿病懇話会 (株)三和化学研究所 ☎ 096-320-9660 大日本住友製薬(株) 後援 宮崎県内科医会
がん疼痛緩和と医 療用麻薬の適正使 用推進のための講 習会 (3単位) (CC 5,7,10, 15,80,84)	11月5日(土) 15 00~ 18 00 県総合保健センター	がん疼痛治療の現状と今後の展望 - 新規薬剤と地域包括の観点から - (仮) 長崎市立市民病院麻酔科診療部長 緩和ケアチーム 富安 志郎 他	主催 厚生労働省 宮崎県 麻薬・覚せい剤乱 用防止センター ☎ 03-3581-7436 後援 宮崎県医師会
平成23年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳・ 胃・大腸) (2単位) (CC 2,11,12,82)	11月5日(土) 15 00~ 17 10 都城市北諸県郡医師 会館	肺癌診療の現状と今後の治療戦略につ いて 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学 床島 真紀 乳がんをいかに早期発見するか プレストピアなんば病院 前田 資雄 胃がんに対する外科診療の現状・その2 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 日高 秀樹 最近の大腸癌診療 同大学医学部内科学講座 消化器血液学 安倍 弘生	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県外科医会秋 期講演会 がん検診(乳) (1単位) (cc 1,84)	11月5日(土) 16:00~17:20 県医師会館	乳癌治療, その最新事情 プレストピアなんば病院長 駒木 幹正	主催 宮崎県外科医会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県精神科診療 所協会学術講演会 (1単位) (cc 6,70)	11月5日(土) 18:50~20:00 宮崎観光ホテル	自傷行為の理解と援助 - 故意に自分の健康を害する若者たち - 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所自殺予防総合対策 センター副センター長 松本 俊彦	共催 宮崎県精神科診療所協会 ヤンセンファーマ(株) (連絡先) ハートピア細見クリニック ☎ 0985-35-1100
「皮膚の日」講演会 (1.5単位) (cc 1,2,9)	11月6日(日) 14:00~15:30 宮日会館	慢性ヒ素中毒症 - 宮崎土呂久からアジアへ - 青木皮膚科 出盛 允啓	主催 宮崎県皮膚科医会 共催 日本臨床皮膚科医会 後援 厚生労働省 日本医師会 宮崎県医師会 NHK (連絡先) 青木皮膚科 ☎ 0985-23-2011
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会2単 位) (2単位) (cc 11,12,76,82)	11月9日(水) 14:00~16:00 宮崎産業保健推進 センター	(3)健康管理 職場における特定疾患( ) クリニックうしたに院長 牛谷 義秀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
糖尿病診療のため の地区別小講習会 (1.5単位) (cc 2,13,76)	11月9日(水) 19:00~20:30 ホテルベルフォート 日向	糖尿病の最新の治療 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学助教 上野 浩晶	共催 宮崎県糖尿病対策推進会議 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 ノバルティスファーマ(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第2回国立病院機構宮崎病院医療セミナー (1単位) (CC 3,13)	11月10日(木) 19:00~20:00 ブライダルホール 竹乃屋	臨床腫瘍学の進歩と、宮崎県のがん治療連携 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学教授 下田 和哉	主催 国立病院機構宮崎病院 後援 児湯医師会 ☎0983-22-1641 児湯内科医会
平成23年度日本医師会社保指導者講習会復講 (2.5単位) (CC 1,2,11,42,84)	11月12日(土) 15:00~17:30 県医師会館TV会議 都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸)	画像診断update - 検査の組み立てから診断まで - 宮崎江南病院 杜若 陽祐 橋口医院 橋口 典久 県立宮崎病院 山口 健一郎	主催 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
世界糖尿病DAY学術講演会 (2単位) (CC 11,23,29,76)	11月13日(日) 10:00~12:00 M R T m i c c	糖尿病と認知症の関係 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学教授 中里 雅光 楽しい食事から考える糖尿病 東京赤坂四川飯店料理長 陳 建一	共催 宮崎県糖尿病対策推進会議 小野薬品工業(株) ☎0985-50-0173
南那珂内科会医学会 (1単位) (CC 70)	11月15日(火) 18:50~20:00 南那珂医師会館	かかりつけ医のためのうつ病診療 県南病院副院長 藤元 ますみ	共催 南那珂内科会 南那珂医師会 ☎0987-23-3411 Meiji Seikaファルマ(株)
第8回都城イメージカンファランス (1.5単位) (CC 42,45,46)	11月15日(火) 19:00~20:45 都城ロイヤルホテル	肺炎の画像診断 - CTから見た呼吸器感染症 - 藤元中央病院健診センター 黒木 正臣	主催 都城イメージカンファランス ☎0986-22-0711 共催 第一三共(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 99回児湯カンファ レンス ( 1 単位 ) ( c c 4 , 51 )	11月 15日(火) 19 00~ 20 10 ホテル四季亭	酸関連疾患の時代変遷と今後の展望( 仮 ) 藤元早鈴病院消化器内科部長 駒田 直人	共催 児湯医師会 ☎ 0983-22-1641 アストラゼネカ(株) 第一三共(株)
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( c c 1 , 6 , 11, 12 )	11月 17日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館( TV 会 議 : 都城・延岡・日 向・児湯・西都・南 那珂・西諸・西臼杵)	(3)健康管理 職場での行動変容指導 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第 16回宮崎県泌尿 器科医会 ( 1.5単位 ) ( c c 9 , 10, 84 )	11月 17日(木) 19 00~ 20 35 M R T m i c c	宮崎県泌尿器科医療連携( M i l l N E T )にお ける P S A パス実施状況 宮崎大学医学部泌尿器科助教 月野 浩昌 前立腺肥大症治療の新しい展開 原三信病院副院長・泌尿器科 主任部長 山口 秋人	主催 宮崎県泌尿器科医会 共催 武田薬品工業(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968
西都市西児湯内科 医会学術講演会 ( 2 単位 ) ( c c 2 , 73, 74 )	11月 17日(木) 19 00~ 21 00 ホテルプリムローズ	C K D の治療 - 腎性貧血の治療も含めて - 古賀総合病院腎センター長 久永 修一	主催 西都市西児湯内科医会 共催 西都市・西児湯医師会 ☎ 0983-43-1687
第 3 回宮崎乾癬研 究会 ( 1.5単位 ) ( c c 1 , 8 , 19 )	11月 17日(木) 19 30~ 21 00 宮崎観光ホテル 500円 ( 学生無料 )	当院での乾癬治療における生物学的製剤 の使用経験 産業医科大学病院皮膚科講師 日野 亮介	共催 宮崎乾癬研究会 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9205

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第2回日向地区急性期医療連携検討会 (2単位) (CC 68,70)	11月18日(金) 19 00~ 21 00 日向市東臼杵郡医師会館	宮崎県精神科救急の現状 - 京都府南部地域の精神科救急との比較も - 協和病院精神科 宇城 敏秀 症例検討会	共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向地区急性期医療連携検討会 ファイザー(株) 後援 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222
宮崎市郡産婦人科医会11月例会 (1単位) (CC 9,76)	11月21日(月) 19 00~ 宮崎観光ホテル	妊娠糖尿病をめぐる最新トピックス - 新診断基準によるGDM管理の新たな提案 - 国立病院機構長崎医療センター 産婦人科部長 安日 一郎	共催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434 久光製薬(株)
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (1.5単位) (CC 50,52,53)	11月24日(木) 18 45~ 20 30 都城ロイヤルホテル	酸関連疾患の時代変遷と今後の展望 - Next Step - 川崎医科大学消化管内科学教授 春間 賢	主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 第一三共(株) アストラゼネカ(株)
平成23年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会 がん検診(肺・乳・胃・大腸) (2単位) (CC 2,11,12,82)	11月24日(木) 19 00~ 21 10 県医師会館(TV会議:都城・延岡・日向・児湯・西都・西諸)	肺癌診療の現状と今後の治療戦略について 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学 柳 重久 乳がんをいかに早期発見するか プレストピアなんば病院 中原 浩 胃がんに対する外科診療の現状・その2 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 前原 直樹 最近の大腸癌診療 同大学医学部内科学講座 消化器血液学 山本 章二郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 63回江南医療連 携の会・症例検討 会 ( 1.5単位 ) ( CC 57,61,84)	11月 24日(木) 19 00~ 20 30 社会保険宮崎江南 病院	人工膝関節置換術後に生じた膝周辺部脆 弱性骨折の 2 例 宮崎江南病院整形外科部長 坂田 勝美 再建に難渋した顔面外傷の 2 例 同病院形成外科医長 津田 雅由 CT?・MRI? こんなとき ,どんなとき 同病院放射線科主任部長 結城 康弘	主催 江南医療連携の会 ( 連絡先 ) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
第 3回宮崎木曜会 学術講演会 ( 1 単位 ) ( CC 50,52)	11月 24日(木) 19 15~ 20 45 宮崎観光ホテル	ESD のコツとピットフォール 神戸大学医学部附属病院消化器内科 光学医療診療部長・准教授 豊永 高史	共催 宮崎木曜会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763
第 13回宮崎Brain Attack研究会 ( 1.5単位 ) ( CC 1 ,15,78)	11月 25日(金) 19 00~ 20 45 宮崎観光ホテル 1,000円 ( 学生無料 )	T IA 診療の行方 国立循環器病研究センター 副院長 峰松 一夫	共催 宮崎Brain Attack研究会 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9205
第 3 回宮崎消化器 外科研究会 ( 1.5単位 ) ( CC 10,22,24)	11月 25日(金) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル 500円	進行食道癌に対する集学的治療 大阪大学消化器外科学教授 土岐 祐一郎	共催 宮崎消化器外科研究会 (株)大塚製薬工場 ☎ 096-359-1808
第 16回宮崎県認知 症かかりつけ医研 修会 ( 2 単位 ) ( CC 10,14,29,80)	11月 26日(土) 14 00~ 16 30 藤元早鈴病院	認知症のケアと社会資源 内村病院精神科 戸高 一成	共催 宮崎県認知症かかり つけ医研修会 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676 宮崎県医師会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研修 の後期研修会およ び生涯研修の専門 研修会4単位) (4単位) (CC 1,8,11, 17,30,31,45,51)	11月26日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館(TV会 議:都城・延岡・日 向・児湯・西都・南 那珂・西諸)	(6)作業環境管理 有機溶剤について - 毒性の基礎的事項 -(仮) 佐賀大学医学部環境医学教授 市場 正良 (8)有害業務管理 有機溶剤について - 職場巡視での注意点や改善点 -(仮) 九州電力総括産業医 藤代 一也	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第6回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 (1.5単位) (CC 2,8,15)	11月28日(月) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	iPS細胞を用いた心臓病の病態解明と心不 全治療の確立 慶應義塾大学医学部循環器内科 教授 福田 恵一	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 ファイザー(株)
第35回宮崎大腸肛 門疾患研究会 がん検診(大腸) (1.5単位) (CC 53,54,55)	12月2日(金) 19 00~ 20 30 県医師会館	大腸肛門疾患総論 - 直腸癌の術前検査から女性特有の便秘 まで - いきめ大腸肛門外科内科院長 柴田 直哉	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業(株) 天藤製薬(株) (連絡先) クリニックうしたに ☎ 0985-52-8080
第5回はまゆう整 形外科セミナー (1単位) (CC 1,61)	12月3日(土) 17 30~ 18 30 宮崎観光ホテル 1,000円	アメリカにおける膝関節靭帯再建術のト ピックス 宮崎大学医学部整形外科学助教 田島 卓也	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 23年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳・ 胃・大腸) ( 2 単位 ) (cc 2,11,12,82)	12月 5 日(月) 19 00~ 21 10 県医師会館( TV 会 議 : 都城・延岡・日 向・児湯・西都・南 那珂・西諸・西臼杵)	肺癌診療の現状と今後の治療戦略につ いて 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学 佐野 ありさ 乳がんをいかに早期発見するか プレストピアなんば病院 古澤 秀実 胃がんに対する外科診療の現状・その 2 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 日高 秀樹 最近の大腸癌診療 同大学医学部内科学講座 消化器血液学 山本 章二郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) (cc 11,12,76,82)	12月 7 日(水) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(3)健康管理 職場における特定疾患( ) クリニックうしたに院長 牛谷 義秀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第 14回宮崎県眼科 医会講習会及び保 険研究会 ( 3 単位 ) (cc 36)	12月 10日(土) 16 00~ 19 00 ホテルJALシティ 宮崎 3,000円 (開業医 勤務医 ) 2,000円 (公的医療機関勤務医)	加齢黄斑変性の画像診断とラニビズマブ 硝子体内投与 日本大学医学部眼科学助教 森 隆三郎 屈折矯正手術の現況 聖路加大学眼科 山口 達夫	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 ノバルティスファーマ㈱

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第63回宮崎整形外科懇話会 (1単位) (cc 19,57)	12月10日(土) 17:00~18:00 県医師会館 1,000円	治療に難渋する骨折 - その初期治療のポイントとサルベージ 対処法について - 香川県立中央病院整形外科主任部長 長野 博志	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬㈱ (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎市郡外科医会 12月例会 (1単位) (cc 10,84)	12月12日(月) 19:10~20:10 宮崎観光ホテル	宮崎県のpopulation-based studyと産科 医療 宮崎大学医学部産婦人科学教授 鮫島 浩	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会2単 位) (2単位) (cc 5,11,12,82)	12月13日(火) 18:30~20:30 都城市北諸県郡医師 会館	(5)健康保持増進 勤労者の問題飲酒の治療的介入(プレアル コーリック)について 野崎病院長 後藤 勇	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

日本医師会生涯教育カリキュラム(2009)

カリキュラムコード(略称 cc)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師-患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## 告知

## 第 155回宮崎県医師会臨時代議員会

と き 平成 23年 11月 29日(火) 19 00~

ところ 県医師会館 2階研修室

## 次 第

1. 議長開会宣言
2. 議事録署名人選出
3. 県医師会長挨拶
4. 報 告
5. 議 事

議案第 1号 平成 23年度宮崎県医師会補正予算に関する件

議案第 2号 公益法人制度改革に伴う公益社団法人への移行に関する件

議案第 3号 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款変更(案)に関する件

議案第 4号 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款施行細則変更(案)に関する件

議案第 5号 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会選挙細則変更(案)に関する件

## 6. 協 議

- 1) 決議(案)について

## 7. その他

## 8. 議長閉会宣言

## ご案内

## 第 68回宮崎県医師会臨時総会

と き 平成 23年 11月 29日(火) 20 00~

(臨時代議員会終了後)

ところ 県医師会館 2階研修室

## 次 第

1. 開 会
2. 県医師会長挨拶
3. 議事録署名人選出
4. 報 告

- 1) 第 155回臨時代議員会における議決事項

## 5. 議 事

議案第 1号 公益法人制度改革に伴う公益社団法人への移行に関する件

議案第 2号 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款変更(案)に関する件

## 6. その他

- 1) 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款施行細則変更(案)について
- 2) 公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会選挙細則変更(案)について

## 7. 閉 会

## 「新春随想」原稿募集

平成24年1,2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願い致します。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等(1枚のみ, カラー印刷はできません)  
も掲載できます。

字 数 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあります)のでご承知ください)

締 切 平成23年12月9日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

ご投稿の原稿が他紙に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。

掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として, 原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示下さい。

日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス([genko@m-iyazaki.med.or.jp](mailto:genko@m-iyazaki.med.or.jp))宛お送りください。もちろん, それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

「新春随想」である旨とタイトル, ご氏名を付記して下記の宛先にお届けください。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: [genko@m-iyazaki.med.or.jp](mailto:genko@m-iyazaki.med.or.jp)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

原稿送付の際は, 他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル, ご氏名を明記の上お送りください。

お知らせ

## お知らせ

平成 23年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

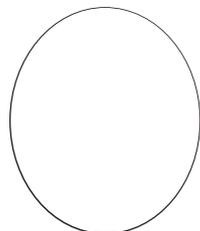
今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 23年 10月 31日現在)

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 8名 (女 8名)	就職希望者 16名 (男 2名, 女 14名)	就職希望者 9名 (女 9名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当: 佐土原 敦 谷口 和子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 谷上 智子 中山さおり 吉原真由美

## 診療メモ



## 「茶のしずく」石鹸による 小麦アレルギーについて

たじり皮膚科医院 田 尻 明 彦

## はじめに

「茶のしずく」石鹸に含まれる加水分解コムギ末により小麦に感作される患者が全国で多数報告されている。加水分解コムギ末は 40種類もの医薬部外品、化粧品に含まれており、昨年までは具体的にどの製品により発症するかは判然としなかったが、報告例全てが「茶のしずく」石鹸であり、この石鹸に含有されている加水分解コムギ末であるグルパール 19s という成分が感作源と考えられている。この疾患は小麦依存性運動誘発アナフィラキシーを発症するため、生命に関与する重要な疾患である。

## 臨床症状

宮崎県では本年 6 月までに 24例が確認されている(表)。石鹸の長期使用により小麦に感作されるが、自験例の発症までの使用期間は 1 ~ 6 年である。発症年齢は平均すると約 40歳であるが、10歳台が 3 例発症しており、これらの患者はニキビのためにこの石鹸を使用していた。本症は石鹸使用時にアレルギーが出ることは少なく、小麦摂取後に蕁麻疹や小麦依存性運動誘発アナフィラキシーを発症する。自験例でも 24例中 15例がアナフィラキシーを生じており、多くの患者が救急搬送されている。ほとんどの症例

表 加水分解コムギ末アレルギー・宮崎県の症例(平成 23年 6 月 30日まで)

症例	年齢, 性別	初診日	製品名, 使用開始	眼瞼浮腫	蕁麻疹	アナフィラキシー	RAST小麦	石鹸が原因と気付いた時期
1	64・ F	H 19.3 .6	茶のしずく, 2 年前				4.12	H 22.12.7 受診時に判明
2	62・ F	H 19.4 .23	茶のしずく, 3 年前				12	H 23.4 .8 受診時に判明
3	32・ F	H 20.5 .7	茶のしずく, 数年前				0.73	H 23.2 .1 受診時に判明
4	49・ F	H 20.6 .23	茶のしずく, 2 年前				5.94	H 23.4 受診時に判明
5	59・ F	H 20.7 .22	茶のしずく, 3 年前				未検	H 22.12.1 受診時に判明
6	43・ M	H 21.6 .28	茶のしずく, 3 年前				1.3	H 23.1 受診時に判明
7	46・ F	H 21.8 .12	茶のしずく, 1 年前				64.8	H 22.3 .1 受診時に判明
8	48・ F	H 21.10.5	茶のしずく, 2 年前				1.62	H 22.8 受診時に判明
9	41・ F	H 21.11.6	茶のしずく, 3 年前				1.12	H 23.2 .2 受診時に判明
10	17・ M	H 22.1 .6	茶のしずく, 2 年半前				7.5	H 22.1 受診時に判明
11	48・ F	H 22.3 .2	茶のしずく, 2 年半前				3.76	H 23.6 .4 受診時に判明
12	43・ F	H 22.6 .8	茶のしずく, 2 年前				22.7	H 22.1 電話にて判明
13	47・ F	H 22.7 .27	茶のしずく, 6 年前				1.88	H 23.4 受診時に判明
14	44・ F	H 22.9 .22	茶のしずく, 3 年前				1.94	H 23.2 .2 受診時に判明
15	41・ F	H 22.9 .25	茶のしずく, 5 年前				6.95	初診時
16	57・ F	H 22.10.13	茶のしずく, 数年前				12.6	初診時
17	30・ M	H 22.12.13	茶のしずく, 5 年前				0.36	初診時
18	14・ F	H 22.12.22	茶のしずく, 数年前				0.69	初診時
19	49・ F	H 22.12.24	茶のしずく, 2 年半前				1.51	初診時
20	38・ F	H 23.3 .12	茶のしずく, 5 年前				1.35	初診時
21	46・ F	H 23.3 .16	茶のしずく, 2 年前				9.13	初診時
22	14・ F	H 23.3 .29	茶のしずく, 4 年前				2.37	初診時
23	34・ F	H 23.6 .7	茶のしずく, 3 年前				0.43	初診時
24	73・ F	H 23.6 .15	茶のしずく, 6 年前				1.14	初診時

が眼瞼浮腫を伴っており、本症の特徴である(図)、小麦摂取後に症状が出現するので小麦アレルギーの診断は容易であるが、石鹼使用時の発症ではないために、患者も医師も石鹼により感作されたことに気が付きにくい。自験例では、このアレルギーのことを知った後の昨年9月以降に初診した10例(症例15~24)は、初診時から「茶のしずく」の関与を疑い容易に診断ができた。しかし、知識がなかったそれ以前に初診した14例(症例1~14)は、その関与に気が付いていない。過去3年間に14例経験したにも拘らず、8医療機関の医師全員が石鹼を感作源と考えなかったのである。このことは「『茶のしずく』で小麦アレルギーを発症する」という知識がなければまず診断はできないということの意味している。

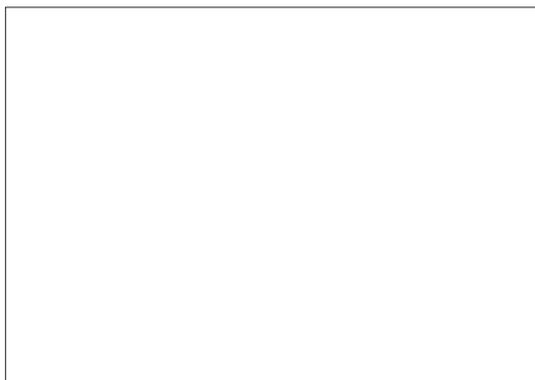


図 43歳、女性 2年前から「茶のしずく」を使用中。焼きそばを食べて10分後の郵便配達中にアナフィラキシーを発症。著名な眼瞼浮腫を認める(患者の許可を得て掲載)。

#### 厚生労働省の通達

平成22年10月15日に厚生労働省から「加水分解コムギ末を含有する医薬部外品、化粧品の使用上の注意事項について」という文書が発令された。「茶のしずく」に感作された症例の報告が21例あり、これを受けての発令である。しかしこの時点では、感作源が「茶のしずく」とは限定されておらず、広く「加水分解コムギ末」とされているため、この通達は漠然としたものになっている。厚生労働省は、業者に対して、注意を喚起する文書をユーザーに送るように通達したが、

加水分解コムギ末は400種類もの医薬部外品、化粧品に含まれており、その文書を読んでもユーザーが「茶のしずく」の危険性を認識することは難しいと思われる。

#### 「茶のしずく」石鹼について

販売会社の悠香は平成15年9月創業、「茶のしずく」は平成16年3月から通信販売のみで販売開始された。順調に販売数を伸ばし、平成22年8月までに4千万個を出荷している。アレルギーの報告を受けて平成22年12月8日に「茶のしずく」から加水分解コムギ末の成分を除去したが、その後も報告が続くために、平成23年5月20日に加水分解コムギ末含有「茶のしずく」は自主回収となった。

#### 治療及び予後

蕁麻疹には抗アレルギー剤を投与するが、アナフィラキシーを発症すればエピネフリンの筋注を行う。自験例の数名の患者にはエピペン[®]を処方している。石鹼を止めれば小麦アレルギーが改善するわけではなく、その後もアレルギーは持続するために小麦摂取を制限する。しかし、思いもかけない食物に小麦が含まれることがあり、完全な制限は難しいのが現状である。また、アナフィラキシーは運動により誘発されるために、食後1時間は安静を保つように指導する。おわりに

宮崎県で24例発症しているのので、全国ではかなりの患者がいると推定される。一度発症すると日常生活のQOLは著しく低下するため、発症させないことが大切である。そのためには消費者にこの事実を認識してもらう必要がある。「茶のしずく」は平成22年12月8日以降に出荷された製品には加水分解コムギ末は配合されていない。6月以降数百万個が回収されたが、まだ加水分解コムギ末含有製品は流通していると考えられ、注意が必要である。今回のアレルギーの感作源は「茶のしずく」に使用されていた特殊な加水分解コムギ末と考えられているが、今後は日本アレルギー学会で解明される予定である。

## 宮大医学部学生のページ

## 〔宮崎大学学園祭〕第 7 回清花祭～期至快晴～その 2

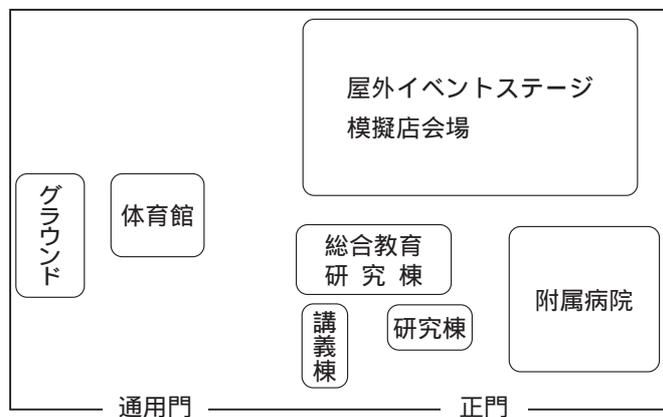
11月 19日(土)・20日(日)開催

清武キャンパスのイベントを一部ご紹介します

イベント名 (場 所)	時 間	内 容
11月 19日 (土)		
ミスキャンパス企画 (屋外イベントステージ)	10: 30~ 12: 30	清武キャンパスの top of 美女を決定するイベントです。観客の皆様に見守られながら美女たちが多数のゲームに挑戦します。
すずかけ太鼓 (体育館)	13: 00~ 13: 30	勇壮で力強い太鼓の演奏をぜひ聴きにきて下さい!
KIZUNA (屋外イベントステージ)	15: 00~ 17: 00	学生 4 人一組のチームで様々なゲームに挑みます。観ているだけでも楽しい企画です。
11月 20日 (日)		
コンテスト (屋外イベントステージ)	11: 00~ 12: 30	大好評! 清武キャンパスで最も美しく, そしてたくましい男の子が決定します。
子ども企画 (体育館)	12: 30~ 14: 00	学園祭に来てくれた子どもたちと“ミニ運動会”を開催します。
両日開催		
乗馬体験 (野球部グラウンド)	11月 19日 (土) 11: 30~ 16: 00 11月 20日 (日) 10: 30~ 16: 00	清武ホースパークさん御協力による乗馬無料体験が行われます。乗馬で日頃の疲れをリフレッシュさせてみませんか。

屋外イベントステージにて開催する企画は雨天時には全て体育館で行います。ここでは紹介できませんでしたが、他にも皆様楽しんでいただけるイベントを用意しております。

## 《清武キャンパスマップ》



医学部ならではの! 医学展を見に行く  
(医学展の内容については次ページへ)  
講義棟へ。全企画を制覇しましょう!  
お腹が空いた...

模擬店会場へ。各部活が自慢の料理を提供します! その様子はまるで B 級グルメ大会。

イベントを楽しみたい  
屋外イベントステージへ

## 清武キャンパス医学展

《清武キャンパス医学展の一部をご紹介します(19日・20日に常に行っています)》

### 漢方企画

実は、漢方って身近に存在しています。あなたも数十種類の生薬を見て匂って、漢方の面白さを体験してみませんか!? 無料のお茶も用意しています!

### からだのふしぎ展

頭痛のメカニズムを徹底解剖! さわれる模型がいっぱい! お役立ちファイルもプレゼント!

### 年齢企画

年齢企画では特別な機械を使って、脳・肌・体力・血管年齢をゲーム感覚で測定していただけます。また、健康、予防に関する展示を行っています。

### Hero For Your Life 企画

地域医療学講座の先生方から指導をうけた、宮崎大学医学部生が講師となり、地域の皆様に、一次救命処置(心臓マッサージ、AED 使用法)を学んでいただく企画です。

### なってみよう企画

聴診器や血圧計などを実際に使って、医師・看護師になってみよう! という企画です。

その他にも、アルコールパッチテストなど体験型のコーナーを設置します。

### スポーツ企画

コンディショニング、ウエイトトレーニングについて正しく理解するための展示をしています。さらに、世界を舞台に活躍されているスポーツドクターをご紹介します。

### 患者さんの気持ち 看護師さんの気持ち お医者さんの気持ち企画

医療に関わる多くの人々の『心の声』を募集し、1冊の本にまとめて無償配布しております。今年度は震災関係者のコラムを掲載しているほか、他の教育機関とも協力して活動致しました。ぜひご覧ください。

### ピア企画

ピア企画では、高校生に生教育や性教育の授業を行う、ピアカウンセリングの活動を紹介しています。命の重さや自分の大切さを感じてもらえたら嬉しいです。

### チャリティー企画

チャリティー企画では、一般のご家庭からいらなくなったものを譲ってもらいバザーを開き、売上の全額を世界中の子どもにワクチンを提供するNPO 団体に寄付します。

他にも、様々な企画が用意されています。清花祭の詳しい情報については、  
<http://kiyokasai.com/index.html> をご覧ください。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名
9月 27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節性インフルエンザワクチンの供給量について</li> <li>・ 健康診断情報の第三者提供に関する取り扱いの周知徹底について</li> <li>・ 学校における今後の結核対策について</li> </ul>
9月 30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 麻しん風しんの第3期・第4期の予防接種の促進について</li> <li>・ 女性医師支援事業連絡協議会の開催について</li> </ul>
10月 4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 23年台風 12号による被災者の「公害健康被害の補償等に関する法律」「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に係る公費負担医療等の取扱いについて</li> <li>・ 「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正について</li> </ul>
10月 6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災及び円高への対応に係る中小企業資金繰り支援策について(セーフティネット保証 5号・東日本大震災復興緊急保証・東日本大震災復興特別貸付)</li> <li>・ 移植希望者(レシピエント)選択基準の一部改正について</li> <li>・ 「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針(ガイドライン)の一部改正について(通知)</li> </ul>
10月 8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩酸メチルフェニデート製剤の小児期 A D /H D 患者の成人期への継続使用に関する添付文書の改訂について</li> <li>・ 財団法人日本医療機能評価機構 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 23年 年報の周知について</li> </ul>
10月 11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定居宅サービス等事業所の人員,設備および運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う指定,介護報酬等の取扱いについて(一部ユニット型施設・事業所関連)</li> <li>・ 季節性インフルエンザワクチンの供給量について</li> </ul>

送付日	文 書 名
10月 12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定款・諸規程改定検討委員会における議論の進捗状況について(情報提供)</li> <li>・ ポリオワクチンの接種に関する広報について</li> <li>・ インフルエンザ予防接種における副反応報告の取扱いについて</li> <li>・ インフルエンザの定期的予防接種実施要領の一部改正について</li> <li>・ 各がん検診実施機関登録名簿について(送付)</li> <li>・ インフルエンザ定期予防接種における副反応報告の取扱いについて</li> </ul>
10月 13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京電力「本補償」の生命・身体的損害に関する請求に係る指定診断書について</li> </ul>
10月 17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刑務共済組合員証及び遠隔地被扶養者証の無効について(通知)</li> </ul>
10月 18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故情報収集等事業第 26回報告書の公表について(通知)</li> <li>・ 医療安全推進週間(11月 20日～26日)について</li> </ul>
10月 19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「結核患者に対するDOTs(直接服薬確認療法)の推進について」の一部改正について</li> <li>・ 「院内感染対策サーベイランス」に係る参加医療機関の追加募集について</li> <li>・ 平成 23年度「児童虐待防止推進月間」の実施について</li> </ul>
10月 21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の居住の安定確保に関する法律等の一部を改正する法律の施行について</li> <li>・ 「新型インフルエンザ対策行動計画」の改定について</li> <li>・ 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令について(老人福祉法および介護保険法関係)</li> </ul>
10月 25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院・診療所等における向精神薬取扱いの手引きについて</li> </ul>
10月 26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> </ul>
10月 27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 末期がん等の方への迅速な要介護認定等の実施について</li> <li>・ 「予防接種法及び新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法の一部を改正する法律」の一部施行及び関係政省令の施行について</li> </ul>



9月の彼岸、両親の墓参りに久しぶりに帰省しましたが、偶然にも時を同じくして、「ブッダ、真理のこと(佐々木閑 著)」という本を読む機会を得ました。ブッダはいうまでもなく仏教の創始者の釈迦のことです。約2,500年前にインドのとある国の王子として生まれたブッダは、幸福でなに不自由ない日々を過ごしていましたが、ある日、国民が抱く老い、病、死への恐怖心を目の当りにして、これらの苦悩から解放されるべく、王宮を飛び出し苦行を始めたようです。伝説では、当初は肉体を酷使する行為を長く続けたようですが、その後、煩惱から救われる修行の本質は肉体を痛めるのではなく、ひたすら精神を集中することにあるという真実に気づいたようです。ブッダの仏教は、念仏をとさえれば救われるといった、誰かに救いを求める救世主的な宗教ではなく、自分の道は自分で開けという厳しい教えのようです。ちなみに、ブッダの没後、東南アジアを中心に根づいた「小乗仏教」は、ブッダの教えをかなり正確に残した教派であるのに対し、6世紀に日本に入ってきた「大乘仏教」は、中国国境付近で長く足踏み状態となり、その教義がかなり変化していったようです。ブッダの仏教は「後ろ姿の教育」だそうです。すなわち、懸命に精進している自分の後ろ姿に感銘した人たちが、結果的に後からついてくるということです。日本の古くからの教育理念であります「子は親の背中を見て育つ」に相通じるものを感じました。最後に、私の心に最も沁みだしたブッダの法話を引用いたします。「他人の間違いに目を向けるな。他人がしたこと、しなかったことに目を向けるな。ただ、自分がやったこと、やらなかったことだけを見つめよ。」(黒川)

外国に医療を受けに行く医療ツーリズムの市場規模は年々増加し、来年は千億ドル規模に達する見込みだそうです。従来、高度医療を受けるためのものですが、待機時間の解消や低コスト医療を目的とする場合も増えているそうです。そこで各国の医療コストを比べると、心臓手術や人工股関節置換術など当然アメリカが断トツに高く、アジア諸国はその1~30%程度で日本はやや高めなのですが、子宮摘出手術に関しては米国を100として日本は18、なんとインド(37)やタイ(33)、シンガポール(27)より安いことが判明！日本の婦人科医として複雑な心境です。(和田)

所得に応じて決められた医療費の自己負担限度額を超えた分が控除(払い戻し)される制度を「高額療養費制度」といいます。この制度の拡充を名目とした初再診時の通常窓口負担金とは別に患者に負担を求める「受診時定額負担」の導入に対し、医療側は断固阻止の態度で署名運動を展開中です。「受診抑制が見込める」と公言され、「軽症の患者がより重症の患者を支える」とも言うべきこの提案は、定額負担の部分を拡大解釈すれば混合診療への布石ともなり得る「パンドラの箱」です。会員一人100人の署名を目標にご協力をお願いします。(尾田)

今年の日本オープンにトップアマとして参戦した伊藤誠道選手のインタビュー。プロの父親から引き継いだパターで闘っている。他のパターを使うと焼きもちなのかその後の試合に使うときに裏切られ、とかくいうことをきかないことが多いそのパターを称して「メンドクサイ女の子みたいで...」と。16歳にしてこのセリフ。しかし妙に納得させられた。素直で優しく、私のいうことを何でもきいてくれて力になってくれる、そんなパターに出会えたらと思う今日この頃である。(下園)

医学部を目指す高校生たちと話をする機会があり、原発をどう思うかと質問したら、必要だと答える生徒が多いのに驚いてしまった。では、串間にも作った方がいいのかと重ねて聞いたら、それはまた話が

違ふのだそうだ。彼らとの話はそこまでであったが、本当に必要で絶対安全だというなら、東京湾に作ればいい。ついでに普天間基地だって東京に移せば首都防衛に役立つだろうと、そこまで言ったら言い過ぎだと同僚に諭されてしまった。それに、そもそも海兵隊の任務は攻撃で、防衛ではないらしい。(上野)

今年も11月に宮崎大学で大学祭が開催されます。医学部キャンパスの方では、我々4年生が中心になって準備を行うことが伝統となっています。みんな慣れない作業に四苦八苦しつても、なんとか準備を進めています。しかし幹部学年になってつくづく気づかされたことがあります。それは大学祭は学外の方々の協力があってはじめて成り立つということです。学生ゆえにまだ学外の皆様への失礼無礼あると思いますが、そこはどうか温かい目で見守っていただけるとありがたく思います。(数内)

最近 Facebook や mixi といったソーシャルネットワークを利用し始めました。高校時代の友人と久しぶりに連絡をとったり、おいしいお店や綺麗な観光地を知ることができたりと、新しい世界が広がりました。また熱心に目標に取り組んでいる友人の様子も知ることができ、良い刺激も受けることができます。家にいながら人との関わりを持つことができることはすごく便利ですが、年末にでも久しぶりに懐かしい友人たちと実際に会おうかなと今から楽しみにしています。(湯淺)

なんと我が母校、宮崎西高が九州地区高校野球大会でベスト8になりました！宮崎県大会では準優勝、九州大会の初戦では福岡県1位の自由が丘高校に勝利、そして2回戦では甲子園でもおなじみの強豪、九州学院(熊本県1位)を相手に0-2で負けたものの善戦しました。テレビやラジオで中継があったわけではないものの、インターネットの速報や掲示板、応援に行った保護者からのメールや電話などで大いに盛り上がったひと時でした。(荒木)

## 今月のトピックス

## 国公立病院だより 小林市立病院

平成2年9月の新病院完成間近の時期，青天の霹靂の如く内科入院治療の断念，外来診療の縮小を余儀なくされた地方自治体病院の困惑と苦悩。そして地域の基幹病院としての存在意義をあらためて問い，その役割を明確にすることから始めた病院再建への道筋。危機的状況の中で新病院長に就任された坪内斉志先生からの寄稿です。是非ご一読ください。 18ページ

## 「新春随想」原稿募集

平成24年1，2月号で毎年恒例になりました「新春随想」欄を企画しています。医事評論，診療閑話，身辺雑記，詩歌，俳句などなんでも結構です。詳細を本誌59頁に掲載していますので奮ってご応募ください。たくさんの方々のご寄稿を，広報委員一同心よりお待ちしております。 59ページ

## 診療メモ 「茶のしずく」石鹼による小麦アレルギーについて

「加水分解コムギ末」含有の石鹼を使用することにより皮膚から小麦に感作され，小麦の経口摂取と運動負荷を契機としてある日突然アナフィラキシーを発症するという怖いお話です。「小麦依存性運動誘発アナフィラキシー」について，田尻明彦先生が自験例を紹介しながらわかり易く解説してくださいました。 62ページ

---

日 州 医 事 第74号 (平成23年11月号) (毎月1回10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 和田 俊朗・副委員長 尾田 朋樹  
委 員 下 薊 孝司，上野 満，黒川 基樹，藪内 悠貴，湯浅美紗子  
坪井 康浩，田坂 裕保，彦坂ともみ，川崎真由美，前田 雄洋

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗，清陽 英道

事務局 学術広報課 喜入 美香，杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 35円 (但し，県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)

---